

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### I 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### 1 学生確保の見通し

##### (1) 定員充足の見込み（総括）

神戸女子大学大学院看護学研究科は、平成 27 年 4 月に開設した看護学部看護学科の教育活動を通じて必要性を実感した優秀な「看護教育者」や「看護研究者」並びに「専門看護師」の育成を目指して平成 31 年 4 月に開設しようとするもので、それらの目的を適時に達成していくため、また、兵庫県看護協会からの要望に応えるため博士前期課程と博士後期課程を同時期に開設しようと考えているところである。また、教育・研究の質を担保し、本学看護学研究科が目指す人材を育成していける規模として、専任教員の体制等（博士前期課程専任教員 16 名（教授 13 名、准教授 3 名）、博士後期課程 14 名（教授 13 名、准教授 1 名））を考慮し、博士前期課程の入学定員を 8 名、博士後期課程の入学定員を 3 名としたところである。本学看護学研究科の教育課程では、実践力が特に求められる編成としていることから専門職業人として一定の実務経験を経てからの入学がほとんどとなり、社会人特別選抜が大多数となると考えられることから、大学院設置基準第 14 条教育方法の特例を実施するとともに「長期履修制度」、「昼夜開講制」の教育方法を取り入れることとしている。本学看護学研究科は、兵庫県阪神地域の中心地 JR 三ノ宮駅からのアクセスに優れているという利便性、また、神戸大学医学部附属国際ガン医療・研究センター、兵庫県立こども病院、神戸市立医療センター中央市民病院などが集積する高度先端医療の拠点として様々なプロジェクトが推進されている神戸ポートアイランドに位置するという立地条件を考慮すると社会人の学生を受け入れる環境としては申し分ないものと考えており、これらの面だけを捉えても定員を充足できると見込んでいるところである。

また、兵庫県内で看護系大学院を設置している大学は、平成 29 年 4 月現在、10 校（国公立 3 校、私立 7 校）で、それらの入学定員の平均を見てみると、博士前期課程で国公立 35.7 人、私立 7.1 人、博士後期課程で国公立 11.3 人、私立 3 人となっており、私立の入学定員は本学看護学研究科と同規模で、後述する志願倍率を見ても、入学定員を上回る志願者を確保できている現状にあることから、本学看護学研究科を開設時には、定員を充足することは可能であると考えられる（資料 1）。

更に、近隣他大学においては、直近 3 年間の博士前期課程（修士課程）の収容定員充足率平均が 94.20%、博士後期課程は設置数が少ないが 210.19%となっていることから（資料 2）、本大学院においても定員充足は充分見込めると考えられる。特に、近隣沿線であり看護学部の偏差値が同程度であり受験者層でも競合実績のある武庫川女子大学、甲南女子大学、兵庫医療大学とは大学院においても競合すると考えられ、それらの博士前期課程（修士課程）収容定員充足率を見てみると、全国平均、近隣他大

学の平均以上の充足率となっており、本大学院も充分、定員充足を見込めるものと考ええる。

これらに加えて、全国的な動向を見てみると、近年の医学・医療の進歩はめざましいものがあり、医療技術は高度化するとともに専門分化しており、現在求められている質の高い看護職者の育成のためには、医学・医療技術の高度化、複雑化に対応できる知識の修得や判断力を養うことが重要である。そのためには、将来の看護教育、看護学の発展や確立に資することができる基礎的能力を培う看護専門教育はもとより、疾病構造の多様化や住民の意識の変化に伴うニーズに対応できる深い人間理解の態度と豊かな人間性を培う一般教育、教養教育が基盤にならなければならない。これらのことから、平成3年まで全国でわずか11校であった看護系大学は、平成4年以降増加し始め、最近では年に10校のペースで増加し、平成20年には166校、平成29年には265校となっている（資料3）。本学においても、平成27年4月に入学定員80人で、神戸女子大学看護学部を設置し、看護師不足という社会的課題に対応し、地域に貢献しようとしているところである。

看護系大学の教育課程を修了した者には、学んだ知識・技術を基に、幅広く看護職として活躍することが期待されている。そのため大学における体系的で総合的な質の高い看護学教育の推進に加え、大学院における高度専門職業人の育成の拡大による、看護職人材の質の担保ならびに量の確保が必要不可欠である。

このように、看護系大学の急激な量的拡大にあって、新設大学のみならず、既設の大学も教員確保が困難な状況あることは明らかであり、大学教育の質保証においては、教員の確保が喫緊の課題である。1学年80名の定員で看護学部を設置した場合、看護系教員は30名程度必要であることから推計しても10校新設されると300名以上の教員が必要となる。

近年の大学の急増とともに看護系大学院も新設が相次いでいるが、看護学教育の発展に向け、教育者・研究者や高度専門職業人育成を担う社会的ニーズには大学院の定員増加が追いついていない状況にある。このことは、看護系大学の教育者・研究者になると推測される看護系大学院の入学定員の推移から10年間で博士前期課程（修士課程）が353名の増加、博士後期課程は69名の増加からも明らかである（日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」（平成20年度版から平成29年度版）に記載されている「主な研究科別の志願者・入学者動向（大学院）」）（資料4）。

また、大学院の私立における博士前期課程（修士課程）の収容定員充足率は、10年間の平均が全体では78.24%に対して看護系は88.53%、博士後期課程は、53.94%に対して、95.57%となっている（資料4）。

これらの通り、大学院の看護系研究科については、近隣他大学の状況及び全国的に見ても志願者は十分、かつ安定的に推移している。また、本研究科が博士前期課程と博士後期課程を同時に設置することで、開設後2年間は博士後期課程においては本看

看護学研究科の前期課程からの進学者が見込めないこととなるが、後述するアンケート結果で、実際に本研究科に入学したいという学生が十分見込まれることから、本大学院が設置する看護学研究科は長期的、安定的に学生を確保できるものとする。

更に、平成 29 年 12 月から平成 30 年 1 月にかけて実施した実習施設等の責任者に対する調査結果から、在職している看護職員のキャリアパスの場として大学院を活用していきたいという職場風土が育ってきたと考えられる。

看護学研究科の基礎となる看護学部は、完成年度を迎えていないが、平成 27 年度の開設時から 3 年間の定員充足状況、入学志願者状況等（志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率）を見ても、学生は確保できている状況であり、新設予定の看護学研究科も同様に充分、学生確保できると考える（資料 5）。

## (2) 定員充足の根拠となる調査結果の概要

本学看護学研究科への入学意向を把握するため、近畿・中国・四国地方の 15 府県（兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、愛媛県、香川県、高知県、徳島県）において、平成 31 年度の大学院進学の可能性のある病院、専門学校を中心に、第三者機関を介してアンケートを実施した。

調査は、平成 29 年 11 月から平成 30 年 1 月の期間で行った。調査方法は、神戸女子大学看護学部の実習施設および大規模病院を中心に病院 834 施設、養成学校等医療関連 100 施設及び神戸女子大学看護学部 3 年生 75 人に対して合計 3,346 人分のアンケート用紙と神戸女子大学大学院看護学研究科のリーフレットを送付し、対象者が直接アンケート用紙に記入する方法で実施した。なお、アンケートの回答用紙は各個人から第三者機関へ直接郵送してもらい、その集計も第三者機関が行っている。

以下に、第三者機関作成のアンケート報告「資料 6」に基づき、主な質問項目とその結果について記載する。

### 1) 大学院への進学意向について

大学院への進学意向について調査した結果、「(2) 職種について」にて「看護学科生」「その他」、または「(4) 最終学歴について」にて「大学院博士後期課程修了（在学中含む）」以外と回答した 242 人のうち、「進学を希望しない」が 70 人（28.9%）と最も多く、次いで「進学に興味がある」68 人（28.1%）、「分からない」44 人（18.2%）、「条件が合えば進学する」41 人（16.9%）、「進学を希望する」16 人（6.6%）、「無回答」3 人（1.2%）の順になっている。

### 2) 大学院で学びたい分野について

大学院への進学意向についての回答者のうち「進学を希望しない」と回答した者を除く 169 人に、大学院に進学した場合に特に学びたい分野について調査した結果、10.0%

以上の割合を占めたものを挙げると、「看護管理学」が 64 人 (37.9%) と最も多く、次いで「看護教育学」60 人 (35.5%)、「成人 (慢性期) 看護学」33 人 (19.5%)、「基礎看護学」32 人 (18.9%)、「在宅看護学」31 人 (18.3%)、「老人看護学」29 人 (17.2%)、「家族看護学」28 人 (16.6%)、「看護倫理学」28 人 (16.6%)、「成人 (急性期) 看護学」27 人 (16.0%)、「小児看護学」21 人 (12.4%)、「地域看護学」18 人 (10.7%) の順になっている。

### 3) 大学院への進学目的について

大学院への進学意向についての回答者のうち「進学を希望しない」と回答した者を除く 169 人に、大学院への進学目的について調査した結果、「高度な専門的知識・技術身につけるため」が 72 人 (42.6%) と最も多く、次いで「将来的なキャリアの向上のため」29 人 (17.2%)、「教育研究内容を深めるため」25 人 (14.8%)、「専門看護師資格 (CNS) を取得するため」21 人 (12.4%)、「看護の研究職・教育職に就きたいため」10 人 (5.9%)、「大学院で研究したい分野があるため」8 人 (4.7%)、「学位を取得するため」2 人 (1.2%)、「その他」2 人 (1.2%) の順になっている。

### 4) 大学院への進学で重視する点について

大学院への進学意向についての回答者のうち「進学を希望しない」と回答した者を除く 169 人に、大学院への進学で重視する点について調査した結果、「研究したい分野がある」が 97 人 (57.4%) と最も多く、次いで「学費が適正である」90 人 (53.3%)、「昼夜開講制度がある」76 人 (45.0%)、「立地条件が良い」59 人 (34.9%)、「指導を受けたい教員がいる」48 人 (28.4%)、「施設・設備が整っている」45 人 (26.6%)、「長期履修制度がある」32 人 (18.9%)、「奨学金制度が充実している」26 人 (15.4%)、「その他」4 人 (2.4%)、「無回答」1 人 (0.6%) の順になっている。

### 5) 看護学研究科看護学専攻への興味・関心について

大学院への進学意向についての回答者のうち「進学を希望しない」と回答した者を除く 169 人のうち、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻について「大いに興味・関心がある」と回答したのは 5 人 (3.0%) である。また、「興味・関心がある」82 人 (48.5%) と回答があり、「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」の合計 87 人 (51.5%) が神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻に興味を示している。

### 6) 神戸女子大学看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向について

「看護学研究科看護学専攻博士前期課程への受験意向について」にて受験意向を示した 27 人と、「分からない」と回答した 55 人の合計 82 人に神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向について調査した結果、「入学を希望する」が 14 人 (17.1%)、「入学を検討する」が 31 人 (37.8%) となり、合計 45 人 (54.9%) が神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向を示している。

### 7) 神戸女子大学看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向について

「看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験意向について」にて受験意向を示し

た13人と、「分からない」と回答した7人の合計20人に神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向について調査した結果、「入学を希望する」が6人(30.0%)、「入学を検討する」が9人(45.0%)となり、合計15人(75.0%)が神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向を示している。

この調査結果より、

#### 看護学研究科看護学専攻博士前期課程

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程へ「入学を希望する」と回答した回答者は14人となり、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の入学定員8人に対し、1.75倍の入学意向を示している。また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答したのは合計45人となり、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の入学定員8人に対し、約5.62倍の入学意向を示している。

#### 看護学研究科看護学専攻博士後期課程

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程へ「入学を希望する」と回答した回答者は6人となり、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の入学定員3人に対し、2.0倍の入学意向を示している。また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した回答者は15人となり、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の入学定員3人に対し、5.0倍の入学意向を示している。

この調査結果に加え、調査対象以外の施設からの進学も考えられることから、博士前期課程の入学定員8人、博士後期課程の入学定員3人の学生は十分に確保できるものとする。

### (3) 学生納付金の設定の考え方

本学看護学研究科の学生納付金については、看護の実践現場で働く社会人等に広く門戸を開いて修学の機会を提供していくことを主眼に、教育の質を確保しつつ、学生に過重な負担とならないように、また、近隣の競合校との均衡も考慮し、博士前期課程及び博士後期課程とも、入学金20万円、授業料60万円、教育・施設充実費15万円とし、初年度納付金を95万円と設定したところである。(資料7)

なお、学生にとっては、神戸女子大学大学院に設けられている奨学金支給制度を活用することにより、より一層経済的負担が軽減できることとなる。(資料8)

## 2 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学看護学研究科の学生の受け入れについては、その多くを看護の実践現場で働く



社会人を対象としていることから、広報・募集活動も的を絞った特色ある効果的な活動を展開することとしている。

① 社会人学生への修学支援としての大学院設置基準第 14 条の実施、長期履修制度や昼夜開講制度の導入並びに大学院独自の奨学金制度の利用

学生の受け入れについては、看護の現場で働く社会人を対象としていることから、これらの学生が安心していける学習環境を整備していくため大学院設置基準第 14 条（教育方法の特例）を実施し、さらに長期履修制度や昼夜開講制度を導入するとともに神戸女子大学大学院奨学金規程（資料 8）に基づき、優れた人材を育成するため奨学金制度を設け支援している。博士前期課程（修士課程）は、各研究科の入学定員を合算した人数を限度に授業料年額の 2 分の 1 を支給し、博士後期課程は、各研究科の入学定員を合算した人数の 2 分の 1 の人数を限度に授業料年額と同額を支給する。

（見込まれる効果）

大学院設置基準第 14 条を実施し、さらに長期履修制度や昼夜開講制度の導入により、看護の現場で働く社会人は時間的な調整が図りやすく、また、大学独自の奨学金制度を利用することで入学しやすい学修環境が整えられ、学生確保に繋がる。

② 多彩な選抜方法の導入

選抜試験は、本研究科の教育・研究目的に沿った人材であるということを的確に判断でき、また、受験生の負担を少しでも軽減できるよう口述諮問を主とした次の 3 種類の試験を導入することとしている。

・推薦選抜      ・一般選抜（秋期募集）      ・社会人特別選抜

（見込まれる効果）

多様な入学試験の時期、入試種別を提供することにより受験生自らに適した入試を選択できるため、受験しやすい環境が整えられ、学生確保に繋がる。

③ 学内学部生への周知と大学院募集要項への掲載・配布

学部教員による大学院の魅力の紹介や学内 Web システム「KISS システム」で研究科の紹介を実施するとともに大学院の受験情報が一覧で掲載されている情報誌や本学ホームページに掲載を行うこと及び看護学部を設置している他大学への大学院募集要項を配布することにより大学院進学希望者への周知を図る。

（見込まれる効果）

学内学部生は、教員からの紹介や学内 Web システムにより看護学研究科の専門領域を知り、他大学の学部生等は大学院の受験情報誌やホームページ及び本学から配布された大学院募集要項により看護学研究科の専門領域を知ること、学生が求めている専門領域を知り得ることができ、学生確保に繋がる。

- ④ 看護系専門学校教員への情報提供及び病院等実習施設を通じた看護職者への広報  
看護系専門学校教員への大学院募集要項を配布すること及び本学実習担当教員から病院等実習施設を通じ、看護職員に対し本学大学院看護学研究科を広報する。

(見込まれる効果)

潜在的な進学希望者が発掘され、学生確保に繋がる。

- ⑤ 看護系学会及び兵庫県看護協会を通じた看護職者への広報

看護系の学会及び兵庫県看護協会に対し、大学院募集要項を配布すること及び本学教員から看護学研究科の教育方針等の理解を得るとともに、これらの団体を通じて会員等への広報活動を展開する。

(見込まれる効果)

潜在的な進学希望者が発掘され、学生確保に繋がる。

- ⑥ 新聞、受験雑誌、看護系雑誌、ネット等への広告

新聞、受験雑誌、看護系雑誌、ネット等へ広告の掲載を計画している。

(見込まれる効果)

新設の研究科であることから、知名度向上により学生確保に繋がる。

なお、本研究科の認可を受けていない段階での広報活動における掲載物には、「認可申請中で、内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。」と明記し、受験検討者に誤解を与えないよう適切な情報の開示を行う。

## II 人材需要の動向等社会の養成

### 1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学看護学研究科では、博士前期課程と博士後期課程を通じて、地域で活躍できる実践に裏打ちされた確かな教育力や研究力を兼備えた教育者、研究者及び高度専門職業人を育成することで保健医療福祉の社会に貢献していくことを教育研究上の目的としている。これを達成していくため、まず、博士前期課程では、生命の尊厳への深い理解と実践科学としての看護の本質を探究する姿勢を育み、卓越した看護実践能力と研究能力の基盤を備えた看護職や高度専門職業人として社会に貢献できる人材を育成することを目的としており、また、博士後期課程では、高い倫理観と高度な教育・研究能力を備え、研究活動を通して看護学の発展に寄与する看護系教育機関の教員・研究者または、保健医療福祉施設における実践者や管理者として、社会に貢献できる人材を育成することである。

これらのことから、神戸女子大学看護学部大学院博士前期課程と博士後期課程を同時に設置することは、急速な大学教育化の進行に伴う困難な教員確保に対応するとともに、高度専門職業人を育成し、社会的課題、地域に貢献するものとする。

2 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(1) 看護教員を取巻く環境等

厚生労働省が平成 22 年 2 月 17 日に報告している「今後の看護職員のあり方に関する検討会報告書」のまとめによると「大学卒や大学院修了の看護職員の看護教員への活用が推進されるようにすることが必要であり、看護教員の不足という構造的な問題にも留意しつつ、看護教員の質の向上を目指して継続的な検討や所要の対応をとられることが望まれる。」と指摘されていることから、大学院による看護教員の育成が喫緊の課題であると考えられる。更に、看護系大学の実態を見てみても、新設大学の多さに加え、既設大学の量的拡大等の影響により教員確保に困難な状況にあり、看護系大学教員は約 7,000 人で平成 27 年度の実績では、看護学修士 228 名、博士 123 名が大学に就職しているものの（一般社団法人日本看護系協会の平成 29 年 4 月 14 日付要望書より）看護系大学教員の数的不足は明らかであり、大学院による看護教員の育成が課題となっている。

(2) 看護系大学院の志願動向等

全国規模での志願動向等は、日本私立学校振興・共済事業団発行の「私立大学・短期大学等入学志願動向（資料 4）」で公表されており、過去 10 年間の志願倍率は、博士前期課程及び博士後期課程とも 100%を超えており、平均でも博士前期課程 1.16 倍、博士後期課程 1.28 倍と高止まりで安定した倍率を維持している現状にあり、看護系大学院が看護職員等に魅力のあることが推測できる。

なお、定員充足率については、100%を下回っている大学院も見受けられるが、博士前期課程と博士後期課程を併設している大学院（武庫川女子大学、京都橘大学、大阪医科大学、関西福祉大学）にあっては、広報活動を連携かつ一体的に展開できるという優位性等の影響からか他の大学院より高い率を確保している現状にある。

(3) 公益社団法人兵庫県看護協会からの要望（資料 9）

看護職の職能団体である兵庫県看護協会会長から、高度な専門知識と科学的根拠に基づいた看護実践能力を持ち、指導的役割を果たすことができる看護職の育成と看護ケア開発に必要な高度な教育・研究能力を備えた教育研究者が求められている現状を踏まえて、本学に対して看護学研究科の設置要望が行われたところである。なお、今後とも、兵庫県看護協会との連携等を蜜にしていくことにより、学生確保に向けた協力も得られるものと考えている。

以上のことから、本学看護学研究科を開設することは、社会的、地域的な看護職を取巻く動向や要請を踏まえたものである。



#### (4) 人材需要の調査結果（資料 10）

神戸女子大学大学院修了者の就職が見込まれる近隣府県 2 府 13 県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県）において、病院等の採用担当者にアンケートを実施した。

調査は、平成 29 年 11 月から 12 月の期間に、修了者の就職が見込まれる病院等 934 施設の採用担当者にアンケート用紙及び神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の概要を示したリーフレットを送付する方法で実施した。有効回答数は 110 施設で、有効回収率は約 11.7%であった。回答については、第三者機関へ病院等から直接郵送され、集計もこの第三者機関が行った。

回答のあった病院、養成学校等医療関連施設 110 施設の内訳は、「病院」が 89 件（80.9%）と最も多く、次いで「医療関係技術者養成校」15 件（13.6%）、「その他」3 件（2.7%）、「介護施設」2 件（1.8%）、「訪問看護ステーション」1 件（0.9%）であった。

以下に、第三者機関作成のアンケート報告「資料 10」に基づき、主な質問項目とその結果について記載する。

##### ① 大学院修了者の採用意向について

将来的な大学院修了者の採用意向について調査したところ、回答のあった病院、医療関連施設等 110 施設のうち、「採用を検討する」が 39 件（35.5%）と最も多く、次いで「できれば採用したい」37 件（33.6%）、「是非採用したい」20 件（18.2%）、「必要ない」9 件（8.2%）、「その他」5 件（4.5%）の順となっている。

##### ② 採用意向のある大学院修了者の看護分野について（複数回答）

「大学院修了者の採用意向について」にて「是非採用したい」「できれば採用したい」「採用を検討する」と回答した 96 施設に採用意向のある大学院修了者の看護分野について調査した結果、10 件以上の回答を得られたものを挙げると、「老人看護学」が 46 件（47.9%）と最も多く、次いで「地域看護学」23 件（24.0%）、「看護教育学」22 件（22.9%）、「看護管理学」22 件（22.9%）、「基礎看護学」21 件（21.9%）、「精神看護学」21 件（21.9%）、「成人（急性期）看護学」20 件（20.8%）、「看護倫理学」20 件（20.8%）、「成人（慢性期）看護学」18 件（18.8%）、「在宅看護学」14 件（14.6%）、「家族看護学」13 件（13.5%）、「看護情報学」12 件（12.5%）の順になっている。

##### ③ 採用を考える専門看護師の専門看護分野について（複数回答）

「大学院修了者の採用意向について」にて「是非採用したい」「できれば採用したい」「採用を検討する」と回答した 96 施設に採用意向のある大学院修了者の専門看護師の看護分野について調査した結果、「老人看護」が 54 件（56.3%）と最も多く、次いで「精神看護」32 件（33.3%）、「がん看護」30 件（31.3%）、「地域看護」28 件（29.2%）、「慢性疾患看護」24 件（25.0%）、「家族支援」23 件（24.0%）、「感染症看護」21 件（21.9%）、「急性・重症患者看護」18 件（18.8%）、「在宅看護」16 件（16.7%）、「母性看護」8

件(8.3%)、「小児看護」8件(8.3%)、「災害看護」6件(6.3%)、「遺伝看護」3件(3.1%)の順になっている。

④ 看護学研究科看護学専攻の修了者の採用意向について

1. 神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用意向について調査した結果、「分からない」が42件(38.2%)と最も多く、次いで「採用を検討したい」39件(35.5%)、「採用したい」15件(13.6%)、「採用は考えない」8件(7.3%)、「無回答」6件(5.5%)の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、54件(49.1%)となっている。

2. 神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用意向について調査した結果、「分からない」が47件(42.7%)と最も多く、次いで「採用を検討したい」33件(30.0%)、「採用したい」12件(10.9%)、「採用は考えない」11件(10.0%)、「無回答」7件(6.4%)の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、45件(40.9%)となっている。

⑤ 看護学研究科看護学専攻の修了者の採用人数について

1. 看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の採用意向について肯定的な採用意向を示した54施設に対して、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者の将来的な採用人数について調査した結果、「1人」が25件(46.3%)と最も多く、次いで「人数は未確定」19件(35.2%)、「2人」6件(11.1%)、「3人」2件(3.7%)、「5人以上」2件(3.7%)の順になっている。

2. 看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の採用意向について肯定的な採用意向を示した45施設に対して、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者の将来的な採用人数について調査した結果、「1人」が21件(46.7%)と最も多く、次いで「人数は未確定」17件(37.8%)、「2人」4件(8.9%)、「3人」1件(2.2%)、「5人以上」1件(2.2%)、「無回答」1件(2.2%)の順になっている。

調査結果のまとめ

神戸女子大学大学院看護学研究科修了者に対する将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「看護学研究科看護学専攻の修了者の採用意向について」の肯定的な回答者と「看護学研究科看護学専攻の修了者の採用人数について」の将来的な採用意向人数の各選択肢(「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定(最低1人とカウント)」)を乗じ、これを合計し、算出した。

※「人数は未確定」とは、「看護学研究科看護学専攻の修了者の採用意向について」にて、「採用したい」、「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケート

の時点では将来的な採用意向人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用意向人数を最低数である「1人」として計算した。

#### 博士前期課程修了者

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の修了者に対する採用意向人数は、「採用したい」のみで合計した場合、28人分となる。入学定員8人に対して、3.5倍の採用意向を確保できている。また、「採用したい」「採用を検討したい」と回答した施設を合計すると72人分となり、これは、入学定員8人に対して、9倍となる。

#### 博士後期課程修了者

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の修了者に対する採用意向人数は、「採用したい」のみで合計した場合、19人分となる。入学定員3人に対して、約6.3倍の採用意向を確保できている。また、「採用したい」「採用を検討したい」と回答した施設を合計すると54人分となり、これは、入学定員3人に対して、18倍となる。

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられることから、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻の修了者の進路は十分に確保できるものとする。

(添付資料)

- 資料1. 兵庫県内の看護系大学院入学定員一覧
- 資料2. 看護学研究科の入学定員、収容定員の充足率
- 資料3. 看護系大学数推移
- 資料4. 看護学研究科の研究科数と入学定員推移
- 資料5. 入学志願状況
- 資料6. 神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の入学意向に関するアンケート調査報告
- 資料7. 近隣大学院学納金一覧
- 資料8. 神戸女子大学大学院奨学金規程
- 資料9. 兵庫県看護協会からの要望書
- 資料10. 神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の採用意向に関するアンケート調査報告

## 兵庫県内の看護系大学院入学定員一覧

設置	大学名	専攻名	入学定員	
			博士前期（修士）課程	博士後期課程
私	関西看護医療大学	看護学専攻	12	3
私	関西国際大学	看護学専攻	8	
私	関西福祉大学	看護学専攻	7	
私	姫路大学	看護学専攻	6	
私	甲南女子大学	看護学専攻	6	
私	兵庫医療大学	看護学専攻	6	
私	武庫川女子大学	看護学専攻	5	3
	平均		7.1	3.0

設置	大学名	専攻名	入学定員	
			博士前期（修士）課程	博士後期課程
国	神戸大学	保健学専攻	54	25
公	兵庫県立大学	看護学専攻（共同災害看護学専攻2名を含む）	25	6
公	神戸市看護大学	看護学専攻	28	3
	平均		35.7	11.3

※博士（5年一貫）課程：兵庫県立大は共同災害看護学専攻を設置



## 資料 2

### 看護学研究科の入学定員、収容定員の充足率

#### 博士前期課程（修士課程）

大学名	入学定員	入学定員充足率				収容定員充足率			
		H27	H28	H29	平均	H27	H28	H29	平均
兵庫医療大学	8	100.00	87.50	50.00	79.17	106.25	131.25	93.75	110.42
甲南女子大学	5	60.00	80.00	100.00	80.00	100.00	80.00	110.00	96.67
武庫川女子大学	12	133.33	91.67	133.33	119.44	133.33	112.50	120.83	122.22
3大学平均	8.3	97.78	86.39	94.44	92.87	113.19	107.92	108.19	109.77
関西国際大学	6	100.00	100.00	83.33	94.44	100.00	100.00	91.67	97.22
京都橘大学	8	100.00	62.50	37.50	66.67	100.00	106.25	87.50	97.92
大阪医科大学	8	125.00	112.50	62.50	100.00	118.75	131.25	106.25	118.75
姫路大学	6	—	—	116.67	116.67	—	—	116.67	116.67
藍野大学	6	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
関西看護医療大学	7	85.71	71.43	71.43	76.19	107.14	92.86	100.00	100.00
京都光華女子大学	5	80.00	0.00	80.00	53.33	80.00	40.00	40.00	53.33
摂南大学	6	—	83.33	50.00	66.67	—	83.33	66.67	75.00
関西福祉大学	6	83.33	100.00	133.33	105.56	75.00	83.33	108.33	88.89
全体平均	6.4	96.29	78.72	81.64	86.61	97.27	92.13	90.79	94.20

#### 博士後期課程

大学名	入学定員	入学定員充足率				収容定員充足率			
		H27	H28	H29	平均	H27	H28	H29	平均
武庫川女子大学	3	—	—	300.00	300.00	—	—	300.00	300.00
京都橘大学	3	266.67	133.33	100.00	166.67	155.56	188.89	200.00	181.48
大阪医科大学	3	266.67	166.67	166.67	200.00	144.44	200.00	233.33	192.59
関西福祉大学	3	—	—	166.67	166.67	—	—	166.67	166.67
平均	3	266.67	150.00	183.34	208.34	150.00	194.45	225.00	210.19

※大学ポータルサイト及び各大学 HP より本学で作成

## 看護系大学数推移

	H3年	H4年	H5年	H6年	H7年	H8年	H9年	H10年	H11年	H12年
大学数	11	14	21	30	40	46	52	63	74	84
増加数		3	7	9	10	6	6	11	11	10

	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年
大学数	89	96	104	119	127	143	156	166	178	188
増加数	5	7	8	15	8	16	13	10	12	10

	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
大学数	200	208	216	234	248	254	265
増加数	12	8	8	18	14	6	11

(一般社団法人日本看護系大学協議会 平成29年度会員校大学一覧資料より)

## 資料 4

看護学研究科の研究科数と入学定員推移（平成 20 年～29 年の 10 年間）

		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	増加数 (平均%)	
博士前期	①研究科数	14	16	21	24	28	33	36	43	46	50	36	
	②入学定員	184	214	291	318	344	395	414	480	517	537	353	
	③志願者数	269	304	347	363	378	477	436	535	471	551	282	
	④入学者数	205	220	266	276	290	363	329	406	385	420	215	
	⑤志願倍率(③/②)	1.46	1.42	1.19	1.14	1.10	1.21	1.05	1.11	0.91	1.03	1.16 (平均倍率)	
	定員充 足率	看護系	111.41	102.80	91.41	86.79	84.30	91.90	79.47	84.58	74.47	78.21	(88.53)
		全体	83.42	82.18	90.95	85.66	76.73	73.42	72.57	70.42	72.48	74.56	(78.24)
博士後期	①研究科数	4	4	4	5	8	10	13	14	20	22	18	
	②入学定員	29	29	29	34	45	53	61	69	92	98	69	
	③志願者数	29	40	33	49	46	70	76	117	111	134	105	
	④入学者数	27	26	26	33	41	49	54	79	86	104	77	
	⑤志願倍率(③/②)	1.00	1.38	1.14	1.44	1.02	1.32	1.25	1.70	1.21	1.37	1.28 (平均倍率)	
	定員充 足率	看護系	93.10	89.66	89.66	97.06	91.11	92.45	88.52	114.49	93.48	106.12	(95.57)
		全体	56.08	55.27	57.56	54.09	54.27	53.71	52.27	52.06	52.12	51.91	(53.94)

（日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」平成 20 年度版～平成 29 年度版「主な研究科別の志願者・入学者動向（大学院）」）

# 資料 5

## 入学志願状況

看護学部看護学科の志願者・合格者・入学者数の推移 過去3カ年

学部名	学科名		2015年度	2016年度	2017年度
看護学部	看護学科	志願者	1,055	1,235	1,593
		受験者(C)	1,039	1,212	1,588
		合格者(D)	146	209	200
		入学者(A)	86	92	91
		入学定員(B)	80	80	80
		A/B*100	107.5	115.0	113.8

神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）への  
入学意向に関するアンケート調査報告

平成30年2月

一般財団法人 日本開発構想研究所



神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）への  
入学意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

平成 31 年 4 月に予定している神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の開設に向けて、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）への入学意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象者

①神戸女子大学看護学部 3 年生

②2 府 13 県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県）に所在する病院、養成学校等医療関連施設に勤務する看護職員、教員

(3) 調査方法

①神戸女子大学看護学部 3 年生に対し、アンケート用紙及び神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の概要を配布し、教室等で直接アンケート用紙に記入する方法により実施。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ大学から郵送。

②神戸女子大学大学院修了生の採用実績のある、または神戸女子大学大学院修了生の就職が見込まれる病院、養成学校等医療関連施設 934 施設の看護職員、教員に対し、アンケート用紙及び神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の概要を送付し、アンケート調査を依頼し実施した。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ回答者から直接郵送。（1 施設につき 1 人～10 人 合計 3,271 人）

その結果、①75 人、②85 施設 171 人の女性回答者から有効回答を得た。

集計結果より、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）への入学意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成 29 年 11 月～平成 30 年 2 月

(5) 有効回収率等

調査対象者数：3,346 人（①神戸女子大学看護学部 3 年生 75 人、

②病院、養成学校等医療関連施設 934 施設に勤務する看護職員、教員 3,271 人）

有効回答者数：251 人（①神戸女子大学看護学部 3 年生 75 人、

②病院、養成学校等医療関連施設 85 施設に勤務する看護職員、教員 176 人）

のうち、女性回答者 246 人

有効回収率：約 7.3%

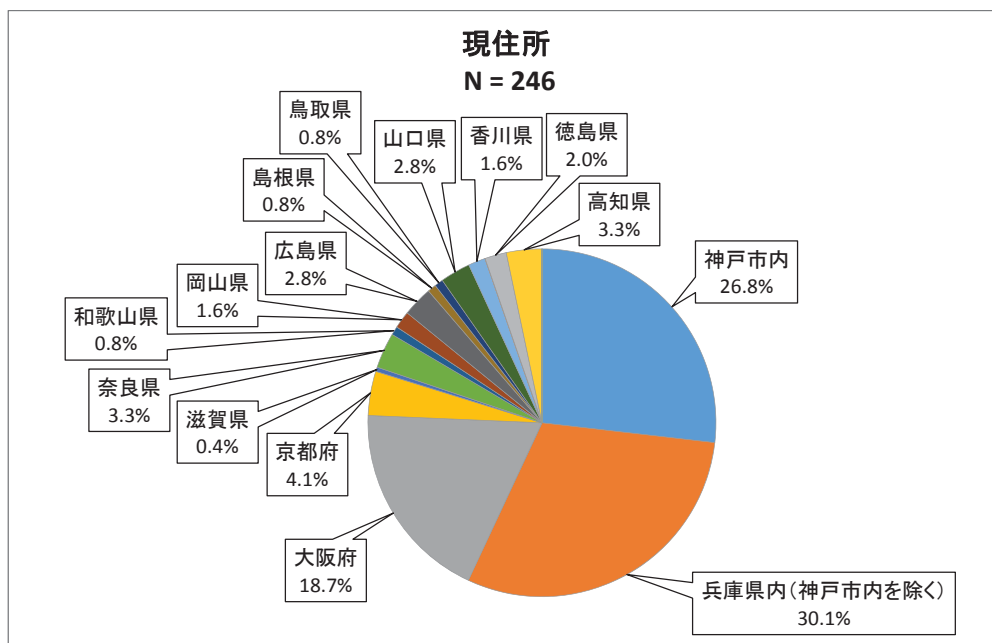
※設置を構想している神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻は仮称であるが、本文中ではその旨の表示を省略した。

## 2. 調査結果

### (1) 現住所について

現住所について調査した結果、女性回答者 246 人のうち、「兵庫県内（神戸市内を除く）」が 74 人（30.1%）と最も多く、次いで「神戸市内」66 人（26.8%）、「大阪府」46 人（18.7%）、「京都府」10 人（4.1%）、「奈良県」8 人（3.3%）、「高知県」8 人（3.3%）、「広島県」7 人（2.8%）、「山口県」7 人（2.8%）、「徳島県」5 人（2.0%）、「岡山県」4 人（1.6%）、「香川県」4 人（1.6%）、「和歌山県」2 人（0.8%）、「島根県」2 人（0.8%）、「鳥取県」2 人（0.8%）、「滋賀県」1 人（0.4%）の順になっている。

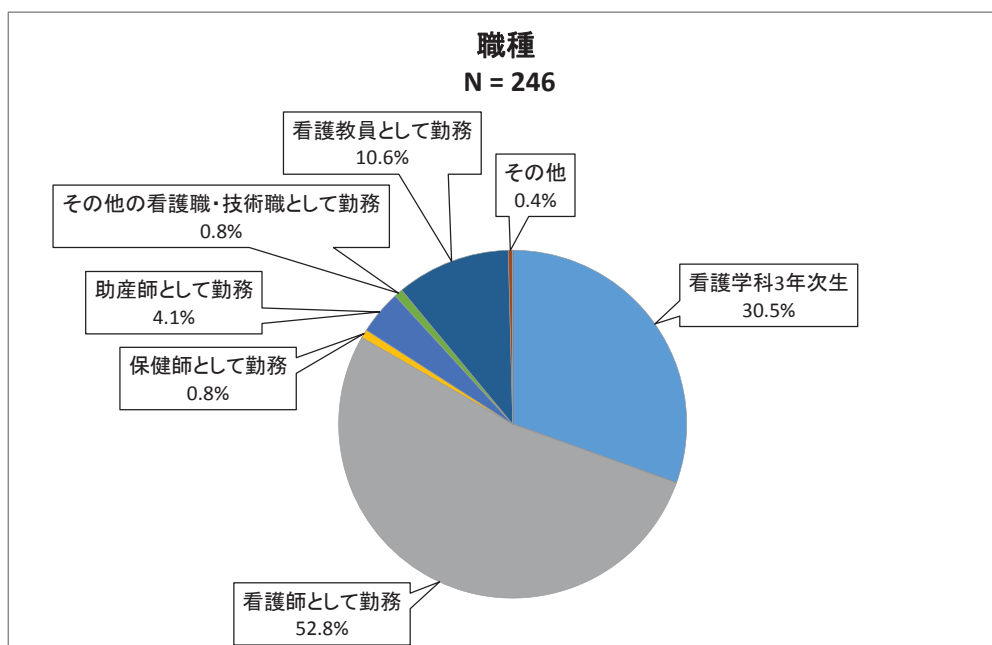
現住所			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	神戸市内	66	26.8
2	兵庫県内(神戸市内を除く)	74	30.1
3	大阪府	46	18.7
4	京都府	10	4.1
5	滋賀県	1	0.4
6	奈良県	8	3.3
7	和歌山県	2	0.8
8	岡山県	4	1.6
9	広島県	7	2.8
10	島根県	2	0.8
11	鳥取県	2	0.8
12	山口県	7	2.8
13	香川県	4	1.6
14	愛媛県	0	0.0
15	徳島県	5	2.0
16	高知県	8	3.3
17	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	246	100



(2) 職種について

職種について調査した結果、女性回答者 246 人のうち、「看護師として勤務」が 130 人 (52.8%) と最も多く、次いで「看護学科3年次生」75 人 (30.5%)、「看護教員として勤務」26 人 (10.6%)、「助産師として勤務」10 人 (4.1%)、「保健師として勤務」2 人 (0.8%)、「その他の看護職・技術職として勤務」2 人 (0.8%)、「その他」1 人 (0.4%) の順になっている。

職種			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	看護学科3年次生	75	30.5
2	看護学科4年次生	0	0.0
3	看護師として勤務	130	52.8
4	保健師として勤務	2	0.8
5	助産師として勤務	10	4.1
6	その他の看護職・技術職として勤務	2	0.8
7	看護教員として勤務	26	10.6
8	その他	1	0.4
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	246	100

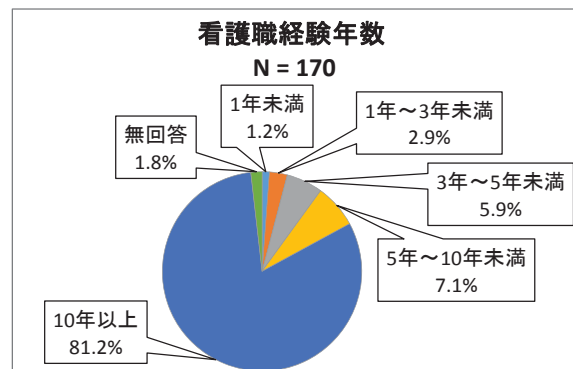


(3) 看護職経験年数について

「(2) 職種について」にて社会人と回答した 170 人について、通算の看護職経験年数を調査した。

その結果、「10 年以上」が 138 人 (81.2%) と最も多く、次いで「5 年～10 年未満」12 人 (7.1%)、「3 年～5 年未満」10 人 (5.9%)、「1 年～3 年未満」5 人 (2.9%)、「無回答」3 人 (1.8%)、「1 年未満」2 人 (1.2%) の順になっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年未満	2	1.2
2	1年～3年未満	5	2.9
3	3年～5年未満	10	5.9
4	5年～10年未満	12	7.1
5	10年以上	138	81.2
	無回答	3	1.8
	N (%ベース)	170	100

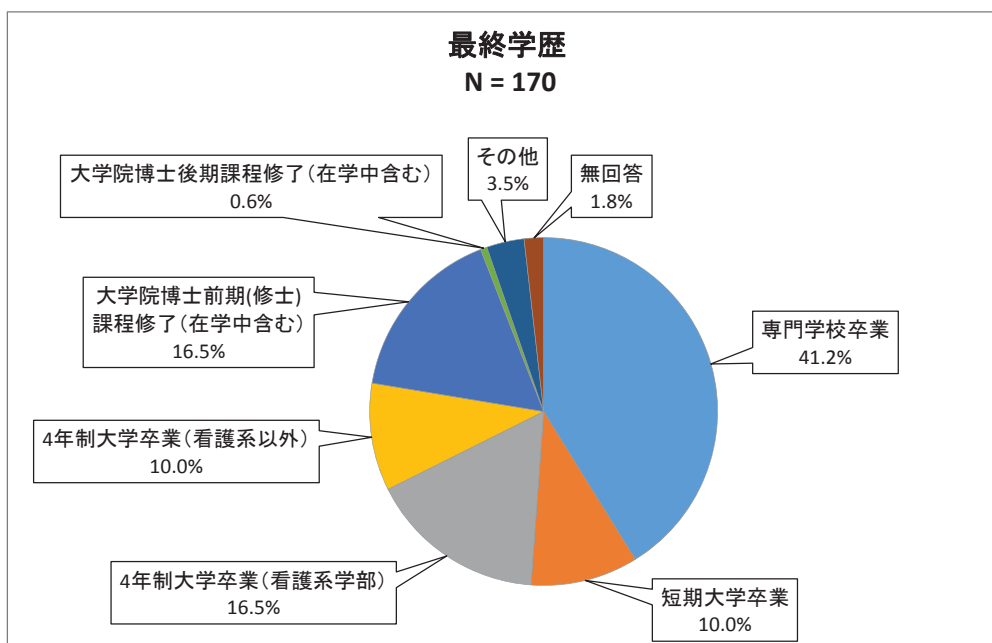


(4) 最終学歴について

「(2) 職種について」にて社会人と回答した 170 人について、最終学歴を調査した。

その結果、「専門学校卒業」が 70 人 (41.2%) と最も多く、次いで「4 年制大学卒業 (看護系学部)」28 人 (16.5%)、「大学院博士前期(修士)課程修了 (在学中含む)」28 人 (16.5%)、「短期大学卒業」17 人 (10.0%)、「4 年制大学卒業 (看護系以外)」17 人 (10.0%)、「その他」6 人 (3.5%)、「無回答」3 人 (1.8%)、「大学院博士後期課程修了 (在学中含む)」1 人 (0.6%) の順になっている。

最終学歴			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	専門学校卒業	70	41.2
2	短期大学卒業	17	10.0
3	4年制大学卒業(看護系学部)	28	16.5
4	4年制大学卒業(看護系以外)	17	10.0
5	大学院博士前期(修士)課程修了(在学中含む)	28	16.5
6	大学院博士後期課程修了(在学中含む)	1	0.6
7	その他	6	3.5
	無回答	3	1.8
	N (%ベース)	170	100

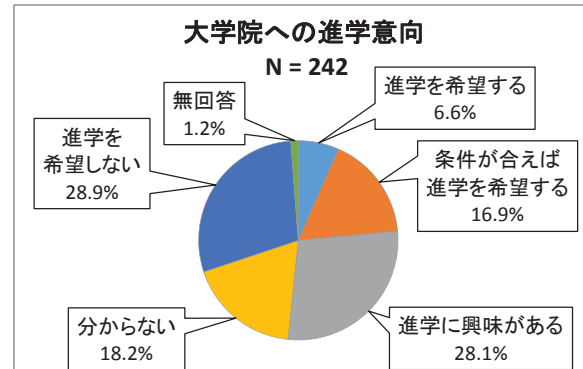




(5) 大学院への進学意向について

大学院への進学意向について調査した結果、「(2) 職種について」にて「看護学科生」「その他」、または「(4) 最終学歴について」にて「大学院博士後期課程修了（在学中含む）」以外と回答した242人のうち、「進学を希望しない」が70人（28.9%）と最も多く、次いで「進学に興味がある」68人（28.1%）、「分からない」44人（18.2%）、「条件が合えば進学を希望する」41人（16.9%）、「進学を希望する」16人（6.6%）、「無回答」3人（1.2%）の順になっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	進学を希望する	16	6.6
2	条件が合えば進学を希望する	41	16.9
3	進学に興味がある	68	28.1
4	分からない	44	18.2
5	進学を希望しない	70	28.9
	無回答	3	1.2
	N (%ベース)	242	100



(6) 大学院で学びたい分野について（複数回答）

「(5) 大学院への進学意向について」の回答者のうち「進学を希望しない」と回答した者を除く 169 人に、大学院に進学した場合に特に学びたい分野について調査した。

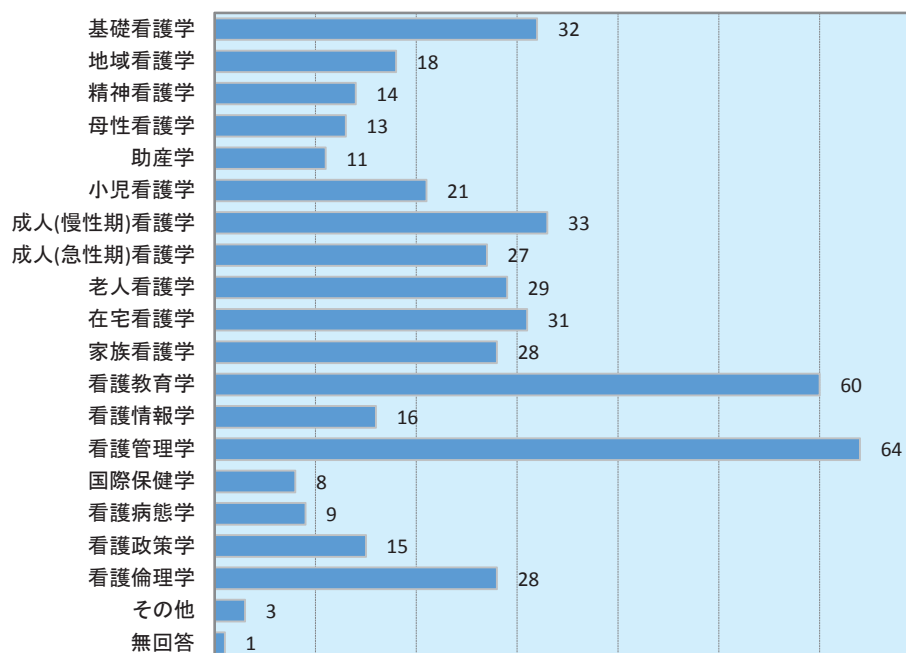
その結果は、10.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「看護管理学」が 64 人（37.9%）と最も多く、次いで「看護教育学」60 人（35.5%）、「成人(慢性期)看護学」33 人（19.5%）、「基礎看護学」32 人（18.9%）、「在宅看護学」31 人（18.3%）、「老人看護学」29 人（17.2%）、「家族看護学」28 人（16.6%）、「看護倫理学」28 人（16.6%）、「成人(急性期)看護学」27 人（16.0%）、「小児看護学」21 人（12.4%）、「地域看護学」18 人（10.7%）の順になっている。

大学院で学びたい分野(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	基礎看護学	32	18.9
2	地域看護学	18	10.7
3	精神看護学	14	8.3
4	母性看護学	13	7.7
5	助産学	11	6.5
6	小児看護学	21	12.4
7	成人(慢性期)看護学	33	19.5
8	成人(急性期)看護学	27	16.0
9	老人看護学	29	17.2
10	在宅看護学	31	18.3
11	家族看護学	28	16.6
12	看護教育学	60	35.5
13	看護情報学	16	9.5
14	看護管理学	64	37.9
15	国際保健学	8	4.7
16	看護病態学	9	5.3
17	看護政策学	15	8.9
18	看護倫理学	28	16.6
19	その他	3	1.8
	無回答	1	0.6
	N (%ベース)	169	100

大学院で学びたい分野（複数回答）

N = 169



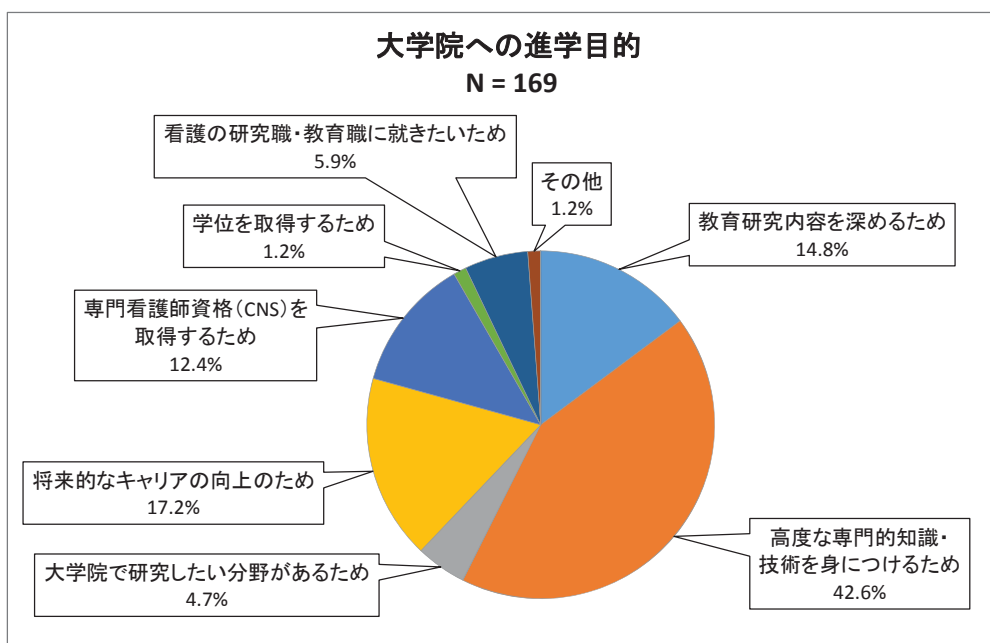
(7) 大学院への進学目的について

「(5) 大学院への進学意向について」の回答者のうち「進学を希望しない」と回答した者を除く 169 人に大学院への進学目的について調査した。

その結果、「高度な専門的知識・技術を身につけるため」が 72 人 (42.6%) と最も多く、次いで「将来的なキャリアの向上のため」29 人 (17.2%)、「教育研究内容を深めるため」25 人 (14.8%)、「専門看護師資格 (CNS) を取得するため」21 人 (12.4%)、「看護の研究職・教育職に就きたいため」10 人 (5.9%)、「大学院で研究したい分野があるため」8 人 (4.7%)、「学位を取得するため」2 人 (1.2%)、「その他」2 人 (1.2%) の順になっている。

大学院への進学目的

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	教育研究内容を深めるため	25	14.8
2	高度な専門的知識・技術を身につけるため	72	42.6
3	大学院で研究したい分野があるため	8	4.7
4	将来的なキャリアの向上のため	29	17.2
5	専門看護師資格 (CNS) を取得するため	21	12.4
6	学位を取得するため	2	1.2
7	看護の研究職・教育職に就きたいため	10	5.9
8	その他	2	1.2
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	169	100



(8) 大学院への進学で重視する点について（複数回答）

「(5) 大学院への進学意向について」の回答者のうち「進学を希望しない」と回答した者を除く 169 人に、大学院への進学で重視する点について調査した。

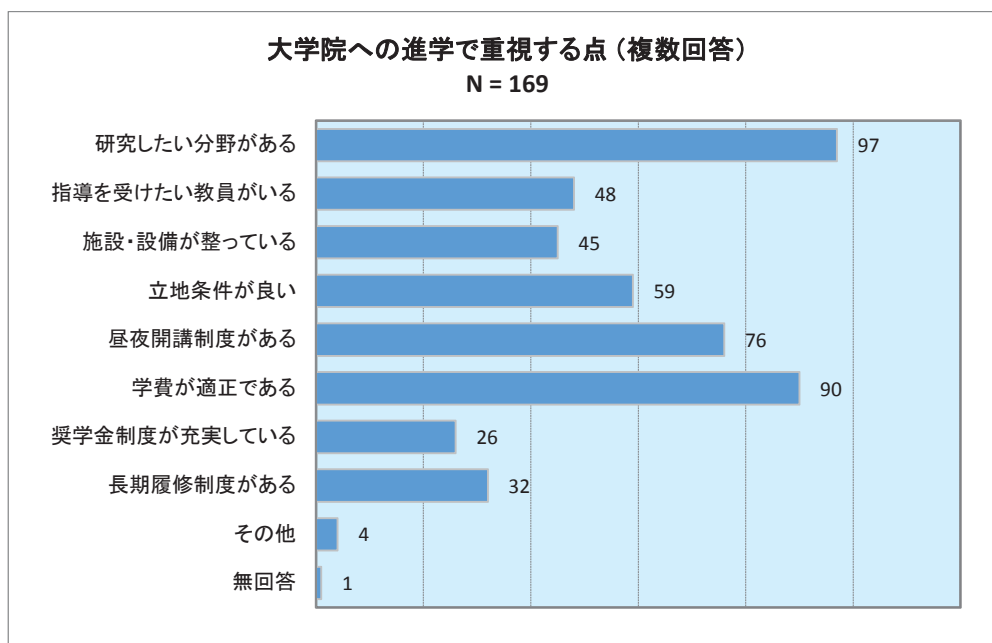
その結果、「研究したい分野がある」が 97 人（57.4%）と最も多く、次いで「学費が適正である」90 人（53.3%）、「昼夜開講制度がある」76 人（45.0%）、「立地条件が良い」59 人（34.9%）、「指導を受けたい教員がいる」48 人（28.4%）、「施設・設備が整っている」45 人（26.6%）、「長期履修制度がある」32 人（18.9%）、「奨学金制度が充実している」26 人（15.4%）、「その他」4 人（2.4%）、「無回答」1 人（0.6%）の順になっている。

大学院への進学で重視する点（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	研究したい分野がある	97	57.4
2	指導を受けたい教員がいる	48	28.4
3	施設・設備が整っている	45	26.6
4	立地条件が良い	59	34.9
5	昼夜開講制度がある	76	45.0
6	学費が適正である	90	53.3
7	奨学金制度が充実している	26	15.4
8	長期履修制度がある	32	18.9
9	その他	4	2.4
	無回答	1	0.6
	N (%ベース)	169	100

大学院への進学で重視する点（複数回答）

N = 169

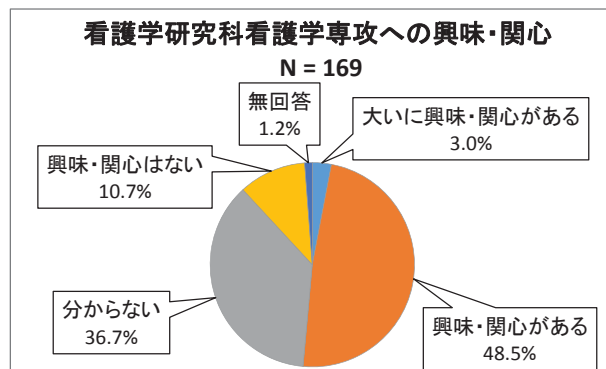


(9) 看護学研究科看護学専攻への興味・関心について

「(5) 大学院への進学意向について」の回答者のうち「進学を希望しない」と回答した者を除く 169 人のうち、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻について「大いに興味・関心がある」と回答したのは 5 人 (3.0%) である。また、「興味・関心がある」82 人 (48.5%) との回答があり、「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」の合計 87 人 (51.5%) が神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻に興味を示している。

看護学研究科看護学専攻への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	5	3.0
2	興味・関心がある	82	48.5
3	分からない	62	36.7
4	興味・関心はない	18	10.7
	無回答	2	1.2
	N (%ベース)	169	100



(10) 興味・関心の理由について（複数回答）

「(9) 看護学研究科看護学専攻への興味・関心について」にて「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」と回答した 87 人に、興味・関心の理由について調査した。

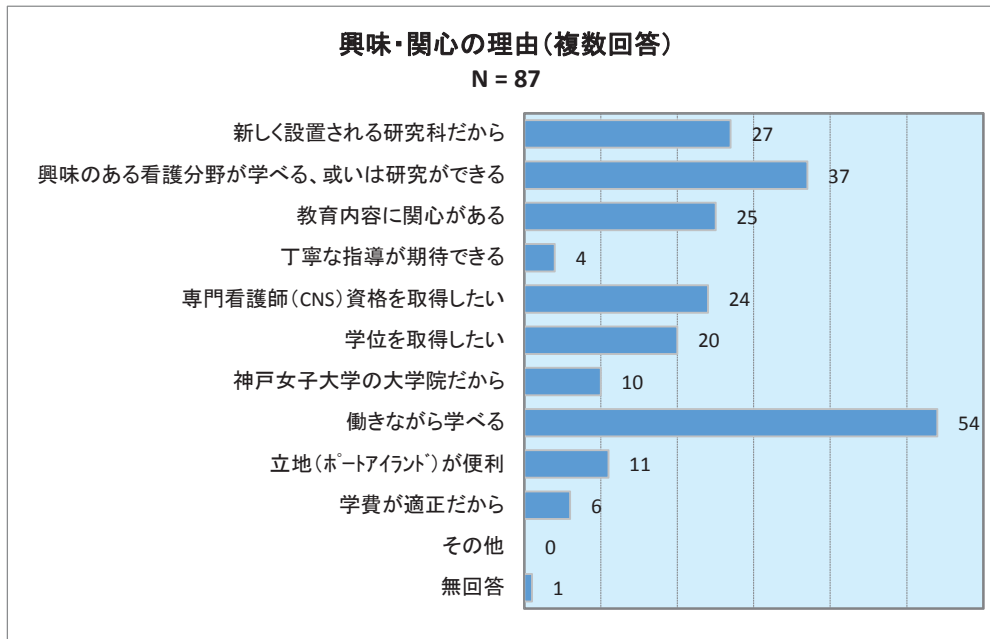
その結果、「働きながら学べる」が 54 人（62.1%）と最も多く、次いで「興味のある看護分野が学べる、或いは研究ができる」37 人（42.5%）、「新しく設置される研究科だから」27 人（31.0%）、「教育内容に関心がある」25 人（28.7%）、「専門看護師（CNS）資格を取得したい」24 人（27.6%）、「学位を取得したい」20 人（23.0%）、「立地（ポートアイランド）が便利」11 人（12.6%）、「神戸女子大学の大学院だから」10 人（11.5%）、「学費が適正だから」6 人（6.9%）、「丁寧な指導が期待できる」4 人（4.6%）、「無回答」1 人（1.1%）の順になっている。

興味・関心の理由（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される研究科だから	27	31.0
2	興味のある看護分野が学べる、或いは研究ができる	37	42.5
3	教育内容に関心がある	25	28.7
4	丁寧な指導が期待できる	4	4.6
5	専門看護師(CNS)資格を取得したい	24	27.6
6	学位を取得したい	20	23.0
7	神戸女子大学の大学院だから	10	11.5
8	働きながら学べる	54	62.1
9	立地(ポートアイランド)が便利	11	12.6
10	学費が適正だから	6	6.9
11	その他	0	0.0
	無回答	1	1.1
	N (%ベース)	87	100

興味・関心の理由（複数回答）

N = 87



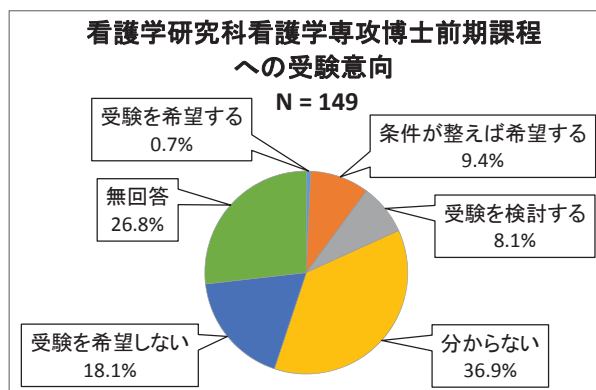
(11) 看護学研究科看護学専攻博士前期課程への受験意向について

「(9) 看護学研究科看護学専攻への興味・関心について」にて「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「分からない」と回答した 149 人に神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程への受験意向について調査した。

その結果は、「受験を希望する」が 1 人 (0.7%)、「条件を整えば希望する」が 14 人 (9.4%)、「受験を検討する」が 12 人 (8.1%) となり、合計 27 人 (18.2%) が神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程への受験意向を示している。

看護学研究科看護学専攻博士前期課程への受験意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験を希望する	1	0.7
2	条件を整えば希望する	14	9.4
3	受験を検討する	12	8.1
4	分からない	55	36.9
5	受験を希望しない	27	18.1
	無回答	40	26.8
	N (%ベース)	149	100



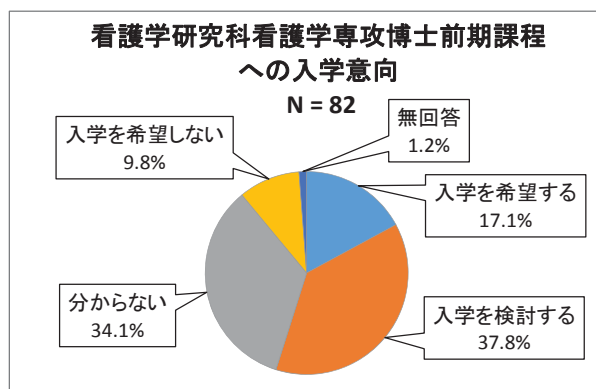
(12) 看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向について

「(11) 看護学研究科看護学専攻博士前期課程への受験意向について」にて受験意向を示した 27 人と、「分からない」と回答した 55 人の合計 82 人に神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向について調査した。

その結果は、「入学を希望する」が 14 人 (17.1%)、「入学を検討する」が 31 人 (37.8%) となり、合計 45 人 (54.9%) が神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向を示している。

看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	14	17.1
2	入学を検討する	31	37.8
3	分からない	28	34.1
4	入学を希望しない	8	9.8
	無回答	1	1.2
	N (%ベース)	82	100



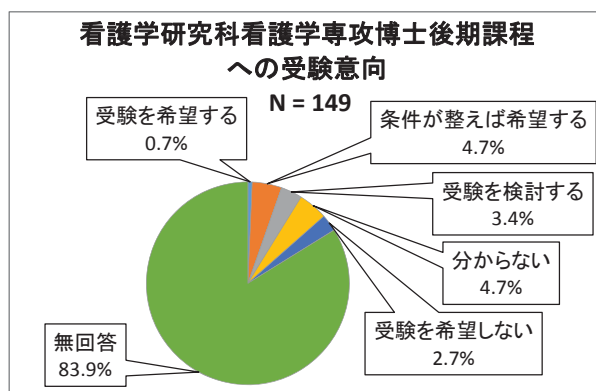
(13) 看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験意向について

「(9) 看護学研究科看護学専攻への興味・関心について」にて「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「分からない」と回答した 149 人に神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験意向について調査した。

その結果は、「受験を希望する」が 1 人 (0.7%)、「条件を整えば希望する」が 7 人 (4.7%)、「受験を検討する」が 5 人 (3.4%) となり、合計 13 人 (8.8%) が神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験意向を示している。

看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験を希望する	1	0.7
2	条件を整えば希望する	7	4.7
3	受験を検討する	5	3.4
4	分からない	7	4.7
5	受験を希望しない	4	2.7
	無回答	125	83.9
	N (%ベース)	149	100



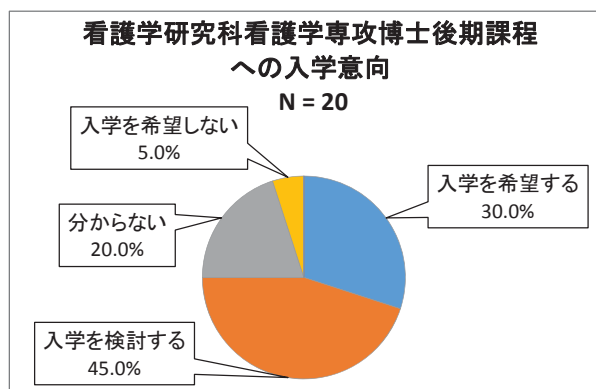
(14) 看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向について

「(13) 看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験意向について」にて受験意向を示した 13 人と、「分からない」と回答した 7 人の合計 20 人に神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向について調査した。

その結果は、「入学を希望する」が 6 人 (30.0%)、「入学を検討する」が 9 人 (45.0%) となり、合計 15 人 (75.0%) が神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向を示している。

看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	6	30.0
2	入学を検討する	9	45.0
3	分からない	4	20.0
4	入学を希望しない	1	5.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	20	100





### 3. 調査結果のまとめ

#### 看護学研究科看護学専攻博士前期課程

「(12) 看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向について」より、「入学を希望する」と回答した回答者は14人となり、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の入学定員8人に対し、1.75倍の入学意向を示している。

また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した回答者は合計45人となり、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程の入学定員8人に対し、約5.62倍の入学意向を示している。

看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	14	17.1
2	入学を検討する	31	37.8
3	分からない	28	34.1
4	入学を希望しない	8	9.8
	無回答	1	1.2
	N (%ベース)	82	100

#### 看護学研究科看護学専攻博士後期課程

「(14) 看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向について」より、「入学を希望する」と回答した回答者は6人となり、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の入学定員3人に対し、2.0倍の入学意向を示している。

また、「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した回答者は合計15人となり、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程の入学定員3人に対し、5.0倍の入学意向を示している。

看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向

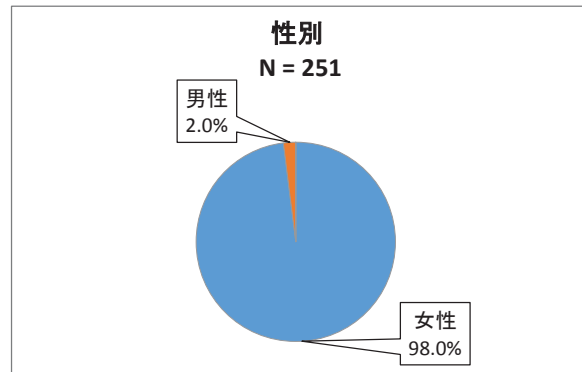
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	6	30.0
2	入学を検討する	9	45.0
3	分からない	4	20.0
4	入学を希望しない	1	5.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	20	100

以上の調査結果と、調査対象以外からの進学も考えられることから、神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻の各課程の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものとする。

## 単純集計表

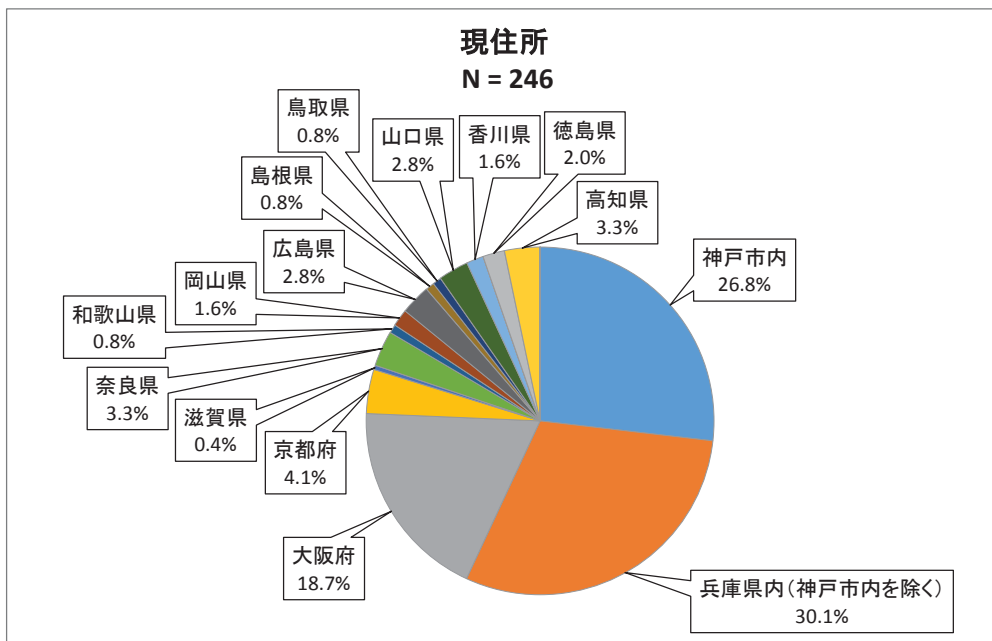
性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	女性	246	98.0
2	男性	5	2.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	251	100

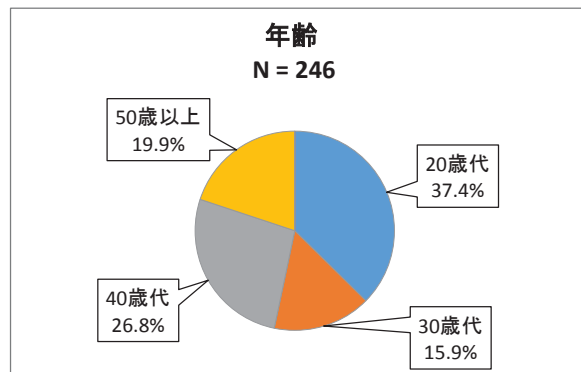


現住所

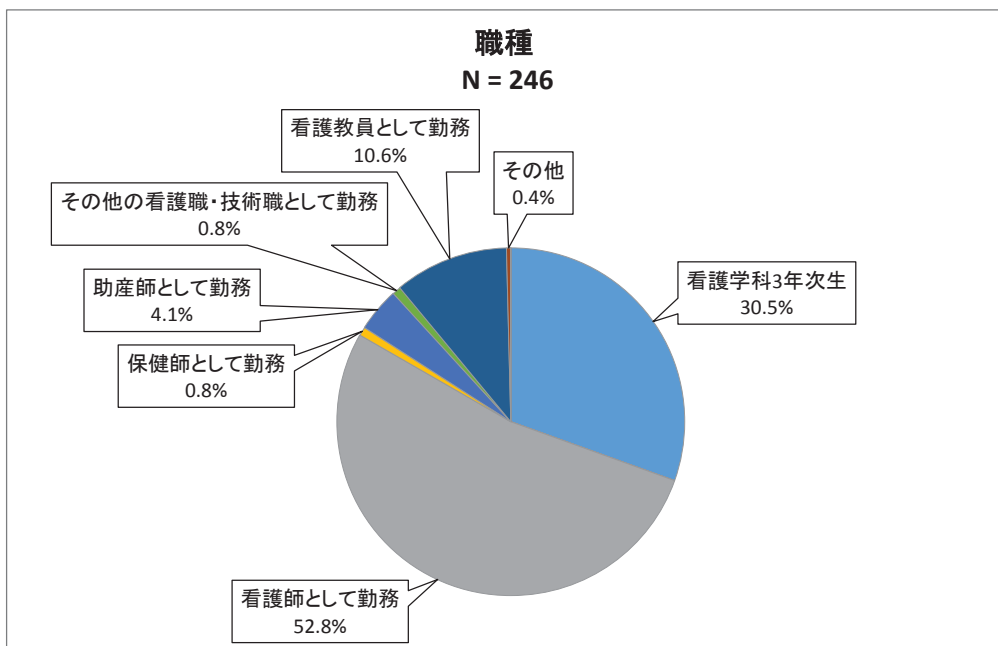
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	神戸市内	66	26.8
2	兵庫県内(神戸市内を除く)	74	30.1
3	大阪府	46	18.7
4	京都府	10	4.1
5	滋賀県	1	0.4
6	奈良県	8	3.3
7	和歌山県	2	0.8
8	岡山県	4	1.6
9	広島県	7	2.8
10	島根県	2	0.8
11	鳥取県	2	0.8
12	山口県	7	2.8
13	香川県	4	1.6
14	愛媛県	0	0.0
15	徳島県	5	2.0
16	高知県	8	3.3
17	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	246	100



年齢			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20歳代	92	37.4
2	30歳代	39	15.9
3	40歳代	66	26.8
4	50歳以上	49	19.9
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	246	100

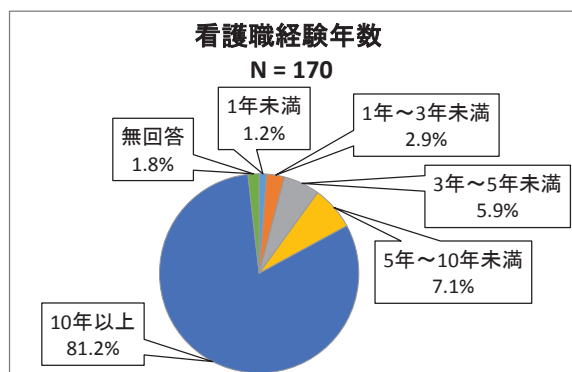


職種			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	看護学科3年次生	75	30.5
2	看護学科4年次生	0	0.0
3	看護師として勤務	130	52.8
4	保健師として勤務	2	0.8
5	助産師として勤務	10	4.1
6	その他の看護職・技術職として勤務	2	0.8
7	看護教員として勤務	26	10.6
8	その他	1	0.4
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	246	100



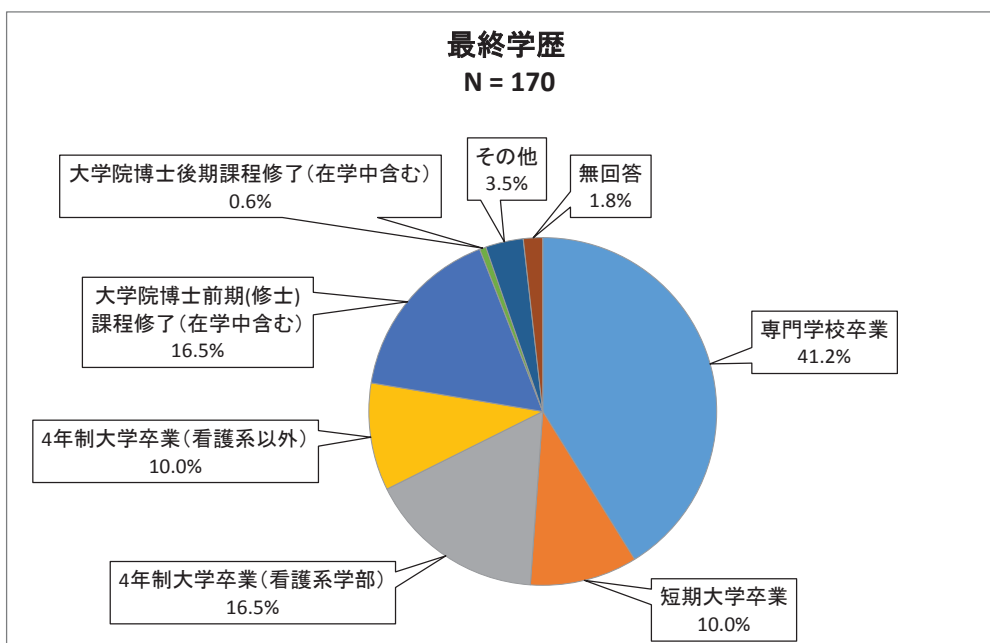
看護職経験年数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年未満	2	1.2
2	1年～3年未満	5	2.9
3	3年～5年未満	10	5.9
4	5年～10年未満	12	7.1
5	10年以上	138	81.2
	無回答	3	1.8
	N (%ベース)	170	100



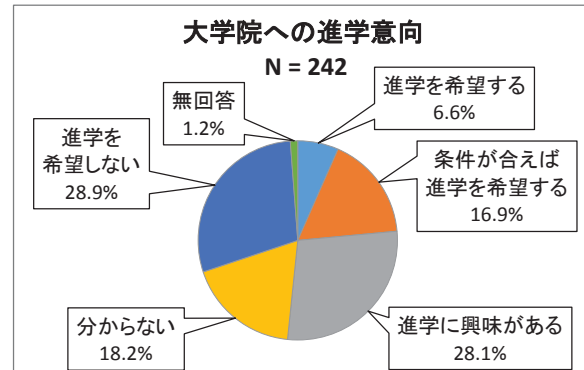
最終学歴

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	専門学校卒業	70	41.2
2	短期大学卒業	17	10.0
3	4年制大学卒業(看護系学部)	28	16.5
4	4年制大学卒業(看護系以外)	17	10.0
5	大学院博士前期(修士)課程修了(在学中含む)	28	16.5
6	大学院博士後期課程修了(在学中含む)	1	0.6
7	その他	6	3.5
	無回答	3	1.8
	N (%ベース)	170	100



大学院への進学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	進学を希望する	16	6.6
2	条件が合えば進学を希望する	41	16.9
3	進学に興味がある	68	28.1
4	分からない	44	18.2
5	進学を希望しない	70	28.9
	無回答	3	1.2
	N (%ベース)	242	100

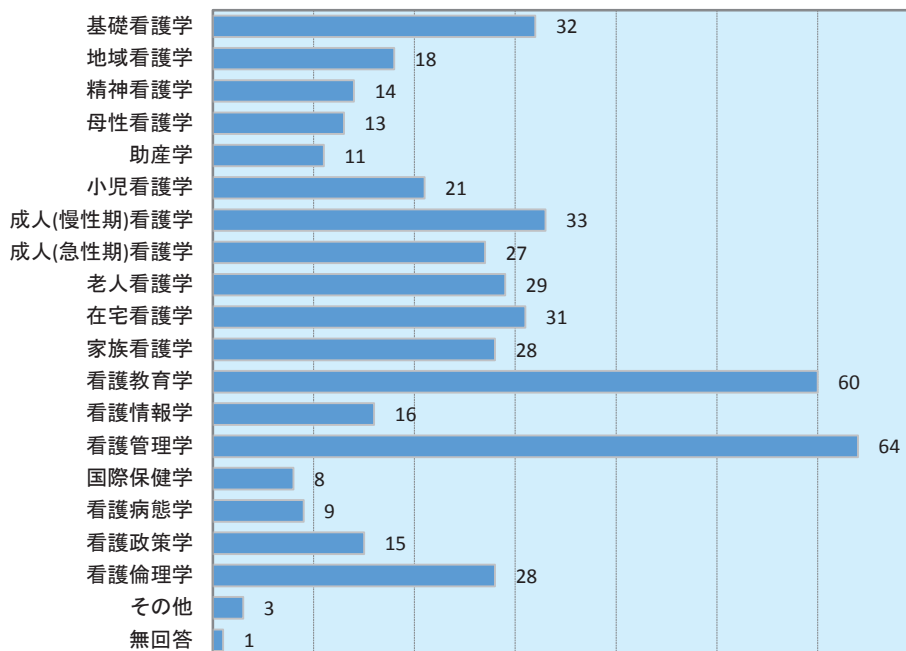


大学院で学びたい分野(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	基礎看護学	32	18.9
2	地域看護学	18	10.7
3	精神看護学	14	8.3
4	母性看護学	13	7.7
5	助産学	11	6.5
6	小児看護学	21	12.4
7	成人(慢性期)看護学	33	19.5
8	成人(急性期)看護学	27	16.0
9	老人看護学	29	17.2
10	在宅看護学	31	18.3
11	家族看護学	28	16.6
12	看護教育学	60	35.5
13	看護情報学	16	9.5
14	看護管理学	64	37.9
15	国際保健学	8	4.7
16	看護病態学	9	5.3
17	看護政策学	15	8.9
18	看護倫理学	28	16.6
19	その他	3	1.8
	無回答	1	0.6
	N (%ベース)	169	100

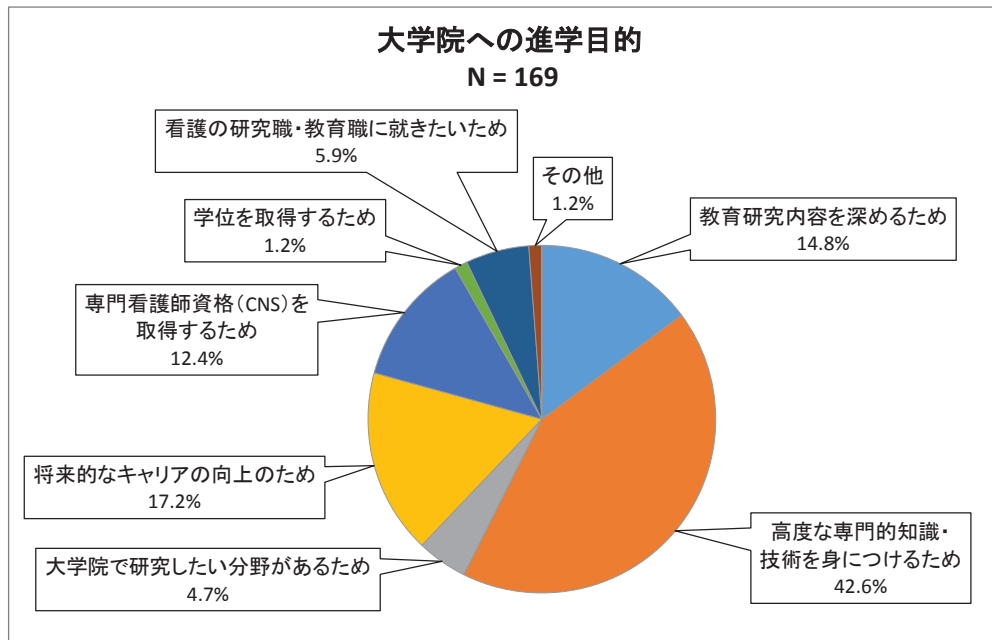
大学院で学びたい分野(複数回答)

N = 169



大学院への進学目的

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	教育研究内容を深めるため	25	14.8
2	高度な専門的知識・技術を身につけるため	72	42.6
3	大学院で研究したい分野があるため	8	4.7
4	将来的なキャリアの向上のため	29	17.2
5	専門看護師資格(CNS)を取得するため	21	12.4
6	学位を取得するため	2	1.2
7	看護の研究職・教育職に就きたいため	10	5.9
8	その他	2	1.2
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	169	100



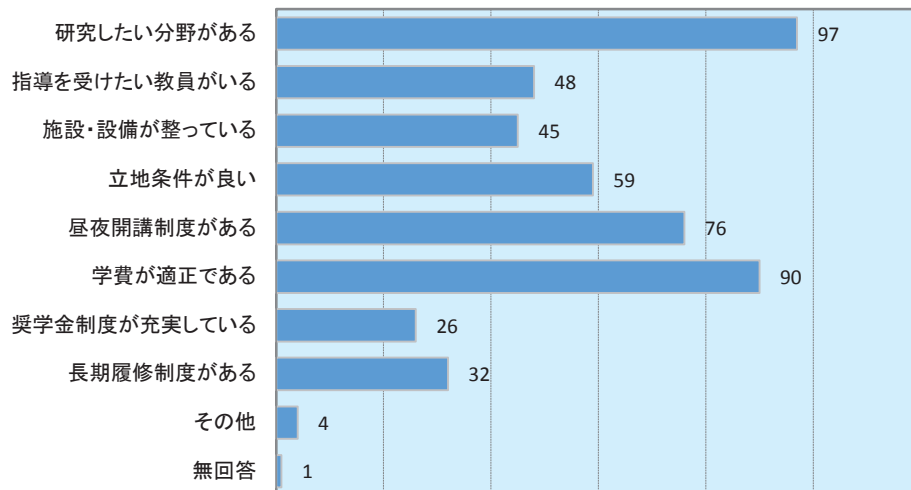


大学院への進学で重視する点(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	研究したい分野がある	97	57.4
2	指導を受けたい教員がいる	48	28.4
3	施設・設備が整っている	45	26.6
4	立地条件が良い	59	34.9
5	昼夜開講制度がある	76	45.0
6	学費が適正である	90	53.3
7	奨学金制度が充実している	26	15.4
8	長期履修制度がある	32	18.9
9	その他	4	2.4
	無回答	1	0.6
	N (%ベース)	169	100

大学院への進学で重視する点(複数回答)

N = 169

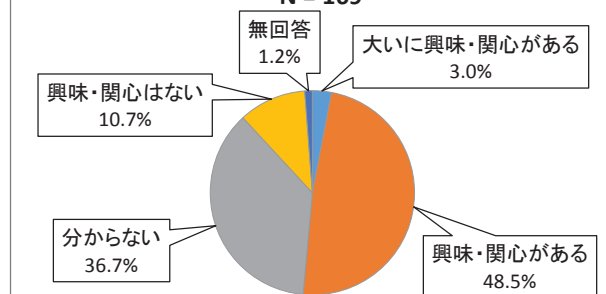


看護学研究科看護学専攻への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	5	3.0
2	興味・関心がある	82	48.5
3	分からない	62	36.7
4	興味・関心はない	18	10.7
	無回答	2	1.2
	N (%ベース)	169	100

看護学研究科看護学専攻への興味・関心

N = 169

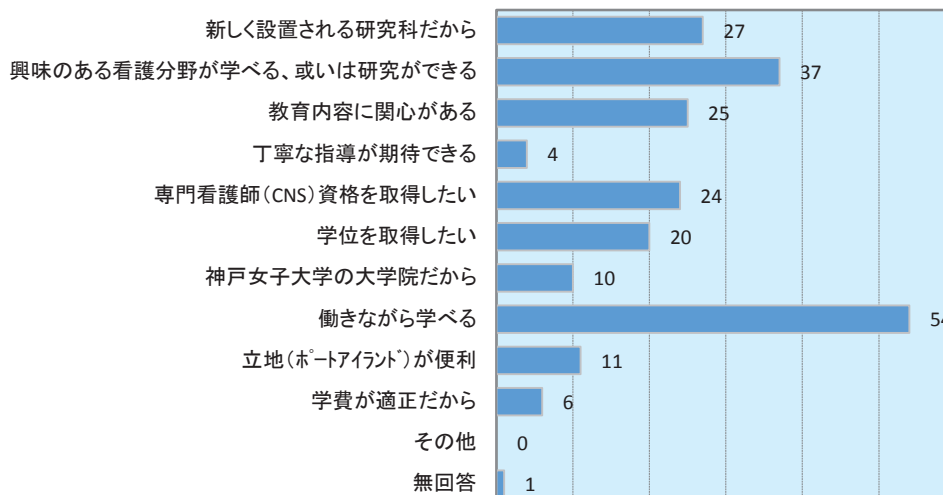


興味・関心の理由(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される研究科だから	27	31.0
2	興味のある看護分野が学べる、或いは研究ができる	37	42.5
3	教育内容に関心がある	25	28.7
4	丁寧な指導が期待できる	4	4.6
5	専門看護師(CNS)資格を取得したい	24	27.6
6	学位を取得したい	20	23.0
7	神戸女子大学の大学院だから	10	11.5
8	働きながら学べる	54	62.1
9	立地(ホートアイランド)が便利	11	12.6
10	学費が適正だから	6	6.9
11	その他	0	0.0
	無回答	1	1.1
	N (%ベース)	87	100

興味・関心の理由(複数回答)

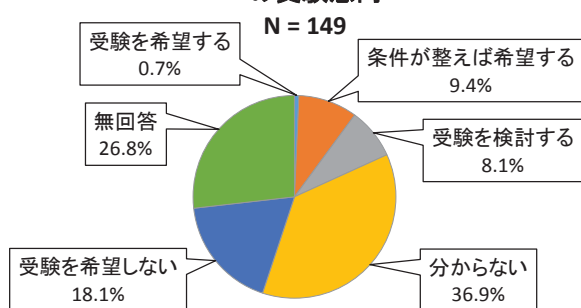
N = 87



看護学研究科看護学専攻博士前期課程への受験意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験を希望する	1	0.7
2	条件が整えば希望する	14	9.4
3	受験を検討する	12	8.1
4	分からない	55	36.9
5	受験を希望しない	27	18.1
	無回答	40	26.8
	N (%ベース)	149	100

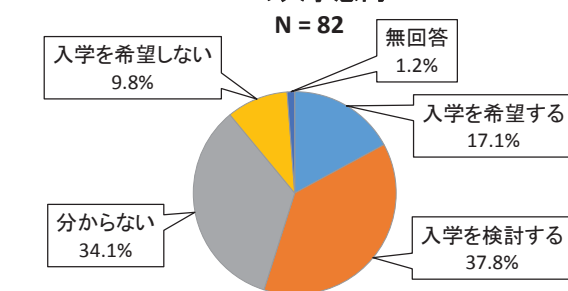
看護学研究科看護学専攻博士前期課程への受験意向



看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	14	17.1
2	入学を検討する	31	37.8
3	分からない	28	34.1
4	入学を希望しない	8	9.8
	無回答	1	1.2
	N (%ベース)	82	100

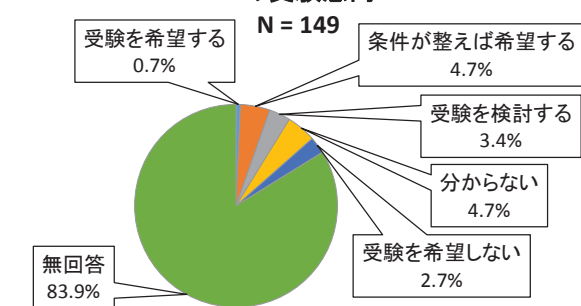
看護学研究科看護学専攻博士前期課程への入学意向



看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験を希望する	1	0.7
2	条件が整えば希望する	7	4.7
3	受験を検討する	5	3.4
4	分からない	7	4.7
5	受験を希望しない	4	2.7
	無回答	125	83.9
	N (%ベース)	149	100

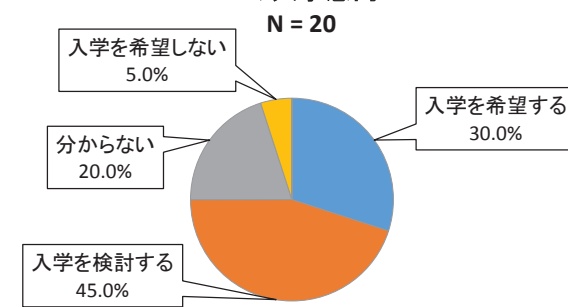
看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験意向



看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	6	30.0
2	入学を検討する	9	45.0
3	分からない	4	20.0
4	入学を希望しない	1	5.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	20	100

看護学研究科看護学専攻博士後期課程への入学意向



## 調査票

神戸女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（仮称）の  
博士前期課程・博士後期課程設置に係るアンケート調査

このアンケート調査は、平成 31 年 4 月に開設する予定の神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の設置計画の基礎資料とするため、進路に関する意向等についてお聞きするものです。ご協力をお願い致します。  
※女子大学への入学意向に関するアンケートのためご回答は女性の方をお願い申し上げます。  
※アンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。  
※回答は、該当する番号を設問右の回答欄の  の中へ直接記入してください。

問1 あなたの性別を選んでください。 【回答欄】  
1 女性          2 男性          2 を選択された方は問17へお進みください。

問2 あなたのお住まい（現住所）について、次の中から1つを選んでください。

1 神戸市内	7 和歌山県	13 香川県
2 兵庫県内（神戸市内を除く）	8 岡山県	14 愛媛県
3 大阪府	9 広島県	15 徳島県
4 京都府	10 島根県	16 高知県
5 滋賀県	11 鳥取県	17 その他[                  都・道・府・県]
6 奈良県	12 山口県	

※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

問3 あなたの年齢を選んでください。

1 20 歳代      2 30 歳代      3 40 歳代      4 50 歳以上

問4 あなたの職種を選んでください。

学生の方は下記よりお選びいただき、問7へお進みください。	社会人の方は下記よりお選びいただき、問5へお進みください。
1 看護学科3年次生 2 看護学科4年次生  8 その他[                  ] ※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。	3 看護師として勤務 4 保健師として勤務 5 助産師として勤務 6 その他の看護職・技術職として勤務 7 看護教員として勤務

【枠内の設問は社会人の方のみご回答ください】

問5 あなたの看護職（看護教員を含む）経験年数（通算）を選んでください。

1 1年未満          3 3年～5年未満          5 10年以上  
 2 1年～3年未満      4 5年～10年未満

問6 あなたの最終学歴を次の中から選んでください。

1 専門学校卒業                          5 大学院博士前期(修士)課程修了（在学中含む）  
 2 短期大学卒業                          6 大学院博士後期課程修了（在学中含む）  
 3 4年制大学卒業（看護系学部）      7 その他 [                  ]  
 4 4年制大学卒業（看護系以外）      ※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

1～5、7を選択された方は問7へお進みください。  
 6を選択された方は問17へお進みください。

問7 大学院への進学についてどのように考えていますか。次の中から1つを選んでください。

1 進学を希望する 2 条件が合えば進学を希望する 3 進学に興味がある 4 分からない 5 進学を希望しない	1～4を選択された方は問8へお進みください。 5を選択された方は問17へお進みください。
---	---

問8 大学院に進学した場合、特にどの分野を学びたいですか。  
次の中から該当するものを **3つまで** お選びください。

- |         |              |          |
|---------|--------------|----------|
| 1 基礎看護学 | 7 成人(慢性期)看護学 | 13 看護情報学 |
| 2 地域看護学 | 8 成人(急性期)看護学 | 14 看護管理学 |
| 3 精神看護学 | 9 老人看護学      | 15 国際保健学 |
| 4 母性看護学 | 10 在宅看護学     | 16 看護病態学 |
| 5 助産学   | 11 家族看護学     | 17 看護政策学 |
| 6 小児看護学 | 12 看護教育学     | 18 看護倫理学 |
|         |              | 19 その他 [ |

--	--	--

※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

問9 大学院に進学する主な目的を次の中から 1 つ選んでください。

- 1 教育研究内容を深めるため
- 2 高度な専門的知識・技術を身につけるため
- 3 大学院で研究したい分野があるため
- 4 将来的なキャリアの向上のため
- 5 専門看護師資格(CNS)を取得するため
- 6 学位を取得するため
- 7 看護の研究職・教育職に就きたいため
- 8 その他 [

--

※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

問10 大学院への進学に際して特に重視することを選んでください。  
次の中から該当するものを **3つまで** お選びください。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1 研究したい分野がある   | 5 昼夜開講制度がある    |
| 2 指導を受けたい教員がいる | 6 学費が適正である     |
| 3 施設・設備が整っている  | 7 奨学金制度が充実している |
| 4 立地条件が良い      | 8 長期履修制度がある    |
|                | 9 その他 [        |

--	--	--

※「その他」を選択した場合は具体的にご記入ください。

ここからは、神戸女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻(仮称)のリーフレットを読んでお答えください。

問11 本学に設置予定の看護学研究科看護学専攻(仮称)についてどのように考えていますか。次の中から 1 つ選んでください。

- 1 大いに興味・関心がある
- 2 興味・関心がある
- 3 分からない
- 4 興味・関心はない

1、2を選択された方は問12へお進みください。  
3を選択された方は問13、もしくは問15へお進みください。  
4を選択された方は問17へお進みください。

--

問12 問11で「1 大いに興味・関心がある」「2 興味・関心がある」と回答したのはどのような理由からですか。次の中から **3つまで** 選んでください。

- 1 新しく設置される研究科だから
- 2 興味のある看護分野が学べる、或いは研究ができる
- 3 教育内容に関心がある
- 4 丁寧な指導が期待できる
- 5 専門看護師(CNS)資格を取得したい
- 6 学位を取得したい
- 7 神戸女子大学の大学院だから
- 8 働きながら学べる
- 9 立地(ポ-トアイランド)が便利
- 10 学費が適正だから
- 11 その他[

--	--	--

※「その他」を選択した場合は具体的な内容をご記入ください。

修士の学位を取得済みの方、または平成31年3月までに取得予定の方は問15へお進みください。  
それ以外の方は問13へお進みください。

看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）への受験、入学意向

問13 本学設置予定の看護学研究科看護学専攻博士前期課程（仮称）への受験の意向について、次の中から1つ選んでください。

- 1 受験を希望する
- 2 条件が整えば希望する
- 3 受験を検討する
- 4 分からない
- 5 受験を希望しない

1～4を選択された方は問14へお進みください。  
5を選択された方は問17へお進みください。

問14 本学設置予定の看護学研究科看護学専攻博士前期課程（仮称）を受験し、合格した場合の入学の意向について、次の中から1つ選んでください。

- 1 入学を希望する
- 2 入学を検討する
- 3 分からない
- 4 入学を希望しない

ご回答後、問17へお進みください。

看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）への受験、入学意向

問15 本学設置予定の看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）への受験の意向について、次の中から1つ選んでください。

- 1 受験を希望する
- 2 条件が整えば希望する
- 3 受験を検討する
- 4 分からない
- 5 受験を希望しない

1～4を選択された方は問16へお進みください。  
5を選択された方は問17へお進みください。

問16 本学設置予定の看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）を受験し、合格した場合の入学の意向について、次の中から1つ選んでください。

- 1 入学を希望する
- 2 入学を検討する
- 3 分からない
- 4 入学を希望しない

ご回答後、問17へお進みください。

問17 本学設置予定の看護学研究科看護学専攻（仮称）について、ご意見・ご要望等がございましたらお聞かせください。（下枠内に直接ご記入ください）

アンケートは以上です。ご協力誠にありがとうございました。

学校法人吉学園 学園企画部学園企画課（担当：田中・三嶋）  
電話：078-303-4816

神戸女子大学大学院  
看護学研究科 看護学専攻  
(仮称)

博士前期課程  
博士後期課程

ポートアイランドキャンパスに  
平成31年4月開設予定

KOBE  
WOMEN'S  
UNIVERSITY

### 看護学研究科看護学専攻(仮称)の目的

本研究科では、本学の教育目標である「自立心・対話力・創造性」を培う教育により、対話を通して患者の心、看護の在り方を理解し、創造的な思考で自ら考え、責任ある人間として自立した視野の広い看護職を育成することを目的としています。

地域で暮らす人々の生活を支え健康課題に対応するため、自立して活躍できる高度実践看護者や実践に役立つ看護ケアの開発者、及びコミュニティ・ケアシステムを生み出すことができ、次世代の看護を担う教育者・研究者の育成を目指します。



神戸女子大学大学院  
KOBE WOMEN'S UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

【お問い合わせ】  
〒650-0046  
神戸市中央区港島中町4丁目7-2  
TEL: (078) 303-4816  
学校法人行吉学園 学園企画部学園企画課

※内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。



## 看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程（仮称）

入学定員 : 8名（収容定員16名）  
 学 位 : 修士（看護学）  
 標準修業年限 : 2年（最大在学年数4年）

### ◆ 教育目的

建学の精神に則り、生命の尊厳への深い理解と実践科学としての看護の本質を探究する姿勢を育み、卓越した看護実践能力と研究能力の基盤を備えて、社会に貢献できる人材を育成します。

専門看護師コース 設置予定  
 （高度実践看護師教育課程）

### ◆ 出願資格

保健師、助産師、看護師のいずれかの免許を取得（見込みを含む）し、次の各項のいずれかに該当する女子とする。

- ① 学士の学位を有する者、又は入学前年度までに取得見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は入学前年度までに修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣の定めるところにより大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- ④ その他、本学大学院において個別に出願資格があると判定された者

※ 出願資格については事前に個別にご相談ください。

### ◆ 修了要件

博士前期課程においては2年以上在学し、所定の単位を修得したうえで修士の学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の審査を受け、最終試験に合格すること。

### 博士前期課程のコース・カリキュラムについて

専門看護師コース
慢性看護 （慢性疾患看護専門看護師）
小児看護 （小児看護専門看護師）

研究コース
【 内容 】 高齢者看護、地域看護、看護実践デザイン・情報マネジメント※、精神看護、女性看護といった内容の科目を想定しています。

※「看護実践デザイン・情報マネジメント」  
看護サービスの可視化や看護情報の活用による、新たな価値開発とマネジメントを探索。

共通科目	専門科目	※演習・研究科目
高度な看護実践能力及び対象に応じた高い教育能力、研究に必要なとされる基本的な能力を育成するための基礎となる科目を配置する。	高度専門職業人を目指す専門看護師コースでは、専門看護師教育課程の教育内容に準じて科目を配置する。 教育・研究者の養成を目指す研究コースでは、高度な実践能力及び対象に応じた高い教育能力、研究の遂行に必要なとされる基本的な能力を育成する科目を配置する。	高度な看護を実践するための知識・技術を修得し、リサーチワークによって研究能力を養うための科目を配置する。

※【演習・研究科目】専門看護師コースは課題研究、研究コースは特別研究

### ◆ 養成する人材像

看護ケア開発に必要な研究の基礎的能力、教育・実践のコミュニティを育成する能力を有する教育研究者及び、地域で暮らす人々を支える高度実践看護師の育成を目指します。

### ◆ 想定される修了後の進路

- ・医療機関の専門看護師や教育担当者
- ・看護系教育機関の教員
- ・保健医療福祉施設や行政機関の実践者や管理者
- ・職能団体の職員
- ・医療関連企業や研究機関の研究員等

### ◆ 社会人に対する配慮

- ・長期履修制度により、授業料の負担を抑え、3年或いは4年での計画的履修が可能。
- ・大学院設置基準第14条の教育方法の特例を実施（昼夜開講制）。夜間、土曜日の授業及び集中講義を併用し、社会人が履修しやすいよう配慮。
- ・本学の給付型奨学金制度による費用負担の軽減。

※内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

## 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程（仮称）

入学定員 : 3名（収容定員9名）  
 学 位 : 博士（看護学）  
 標準修業年限 : 3年（最大在学年数6年）

### ◆ 教育目的

建学の精神に則り、高い倫理観と高度な教育・研究能力を備え、研究活動を通して看護学の発展に寄与するとともに、社会に貢献できる人材を育成します。

### ◆ 出願資格

保健師、助産師、看護師のいずれかの免許を取得（見込みを含む）し、次の各項のいずれかに該当する女子とする。

- ① 修士の学位、若しくは専門職学位を有する者、又は入学前年度までに取得見込みの者
- ② 外国において修士の学位、若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は入学前年度までにその見込みのある者
- ③ 文部科学大臣の定めるところにより修士の学位、若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者
- ④ その他、本学大学院において個別に出願資格があると判定された者

※ 出願資格については事前に個別にご相談ください。

### ◆ 修了要件

博士後期課程においては3年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けたうえで、博士の学位論文の審査及び試験に合格することを必要とする。

### 博士後期課程のカリキュラムについて

科目区分	内 容	
共通科目	看護課題を解決するための研究デザイン及び方法を開発できる高度な研究能力を養い、広く分野横断的な視点を養う。	高齢者看護、看護ケア・教育、看護政策・マネジメント、看護情報、精神看護、看護病態、国際保健といった内容の科目を想定しています。
専門科目	広範な看護課題や健康問題について、現在の対策・支援・ケア及び支援システム等の有効性や課題を考察し、援助方法論の創出等、より高度な研究能力を養う。	
演習・研究科目	それぞれの専門領域における新たなエビデンスを創造できる、革新的な研究能力や卓越した教育能力を培う。関心に基づいた看護の問題現象の知識を深めるとともに、自律して研究活動が行える高度な研究能力を養う。	

### ◆ 養成する人材像

地域で暮らす人々を支援する看護ケアを開発し、実践に応用できる革新的研究能力や、分野横断的な視点を持ちながら人や組織と連携して共同開発ができる卓越した教育能力を有する教育研究者の育成を目指します。

### ◆ 想定される修了後の進路

- ・看護系教育機関の教員
- ・保健医療福祉施設や行政機関、研究機関における教育・研究者

### ◆ 社会人に対する配慮

- ・大学院設置基準第14条の教育方法の特例を実施（昼夜開講制）。夜間、土曜日の授業及び集中講義を併用し、社会人が履修しやすいよう配慮。
- ・本学の給付型奨学金制度による費用負担の軽減。

※内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。



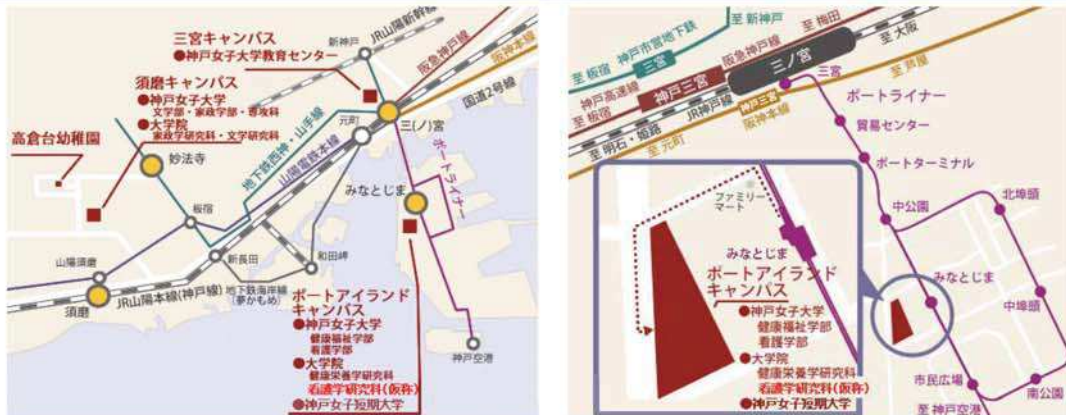
## 類似する近隣の大学院

所在	大学院名	研究科名 専攻名	学位	コース	専門看護師 教育課程分野	入学金	授業料等 (年額)	初年度 合計
京都	京都光華女子大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	—	180,000円	900,000円	1,080,000円
京都	京都橋大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	専門看護師コース	母性、老年、精神	200,000円	630,000円	830,000円
				研究コース	—			
			博士	—	—			
大阪	藍野大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	—	100,000円	750,000円	850,000円
大阪	大阪医科大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	高度実践コース	慢性、母性、小児、精神	200,000円	580,000円	780,000円
				教育研究コース	—			
			博士	—	—			
大阪	摂南大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	—	150,000円	870,000円	1,020,000円
兵庫	関西看護医療大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	高度実践看護職養成コース	—	300,000円	1,100,000円	1,400,000円
				教育者・研究者養成コース	—	300,000円	800,000円	1,100,000円
兵庫	関西国際大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	専門看護師(CNS)コース	リハビリ・ケア	200,000円	800,000円	1,000,000円
				修士論文コース	—			
兵庫	関西福祉大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士 博士	—	—	240,000円	900,000円	1,140,000円
兵庫	甲南女子大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	がん、老年	200,000円	500,000円	700,000円
兵庫	姫路大学大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	—	200,000円	700,000円	900,000円
兵庫	兵庫医療大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	—	がん、リハビリ・ケア	100,000円	500,000円	600,000円
兵庫	武庫川女子大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻	修士	・看護学研究コース ・看護学研究保健師コース	—	280,000円	1,000,000円	1,280,000円
			博士	—	—	280,000円	900,000円	1,180,000円
兵庫	神戸女子大学 大学院	看護学研究科 看護学専攻 (仮称)	修士	専門看護師コース	慢性、小児	200,000円 (予定)	750,000円 ※(予定)	950,000円 (予定)
				研究コース	—			
			博士	—	—			

※博士前期課程の専門看護師コースを選択した場合、実習費が実費で必要となります。

注)各大学の情報は日本私立大学団体連合会『学生納付金等調査(平成29年度入学生)』及び大学公式ホームページ(平成29年4月時点)より調査。

## ACCESS



三ノ宮駅・三宮駅からボートライナーの「神戸空港行き」「北埠頭行き」に乗り、「みなとじま駅」で下車。(乗車時間約10分)「みなとじま駅」より徒歩5分。

※内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。